

取扱注意

令和 7 年度
県立学校教務主任研究協議会

情報交換事項（集計表）

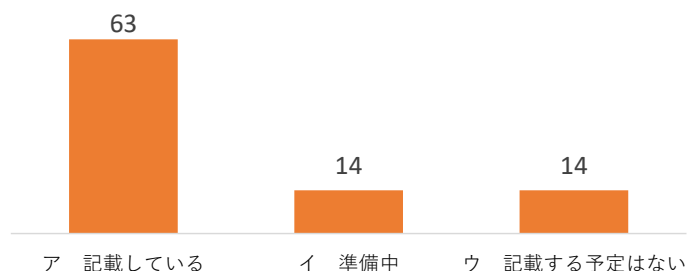
1 観点別学習状況の評価について

(1) シラバスや年間指導計画表に、観点別学習状況の評価規準を記載しているか。

ア 記載している

イ 準備中

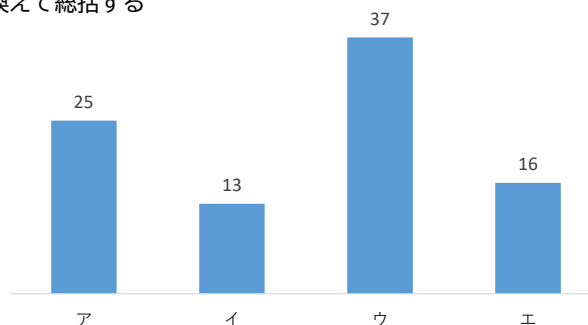
ウ 記載する予定はない



ア 記載している		イ 準備中	ウ 記載する予定はない
三島高等学校	内子高等学校(小田)	川之江高等学校	新居浜南高等学校
土居高等学校	八幡浜高等学校	新居浜商業高等学校	松山中央高等学校
新居浜東高等学校	八幡浜工業高等学校	丹原高等学校	今治精華高等学校
新居浜西高等学校	川之石高等学校	宇和高等学校	聖カタリナ学園高等学校
新居浜工業高等学校	三崎高等学校	今治東中等教育学校	新田高等学校
西条高等学校	野村高等学校	みなら特別支援学校	愛光高等学校
西条農業高等学校	宇和島東高等学校	FC今治高等学校明德校	帝京第五高等学校
小松高等学校	宇和島東高等学校(津島)	済美高等学校	済美平成中等教育学校
東予高等学校	宇和島水産高等学校	松山東雲高等学校	松山商業高校(定)
今治西高等学校	吉田高等学校	松山学院高等学校	大洲高等学校(肱川)
今治西高等学校(伯方)	北宇和高等学校	新田青雲中等教育学校	松山盲学校
立今治南高等学校	北宇和高等学校(三間)	川之江高等学校(定)	今治特別支援学校
今治北高等学校	南宇和高等学校	松山工業高等学校(定)	新居浜特別支援学校
今治北高等学校(大三島)	松山西中等教育学校	八幡浜高等学校(定)	新居浜特別支援学校(みしま)
今治工業高等学校	宇和島南中等教育学校		
弓削高等学校	愛媛大学附属高等学校		
北条高等学校	松山聖陵高等学校		
松山東高等学校	新居浜西高等学校(定)		
松山南高等学校	西条高等学校(定)		
松山南高等学校(砥部)	今治西高等学校(定)		
松山北高等学校	松山東高等学校(通)		
松山北高等学校(中島)	松山南高等学校(定)		
松山工業高等学校	宇和島東高等学校(定)		
松山商業高等学校	今治精華高等学校(通)		
東温高等学校	未来高等学校(通)		
上浮穴高等学校	松山聾学校		
伊予農業高等学校	しげのぶ特別支援学校		
伊予高等学校	みなら特別支援学校(松山城北)		
大洲高等学校	宇和特別支援学校(知的)		
大洲農業高等学校	新居浜特別支援学校(川西)分校		
長浜高等学校	愛大附属特別支援学校		
内子高等学校			

(2) 令和7年度の学習評価における評定への総括をどのように行うか。

- ア 三つの観点の評価の組合せを基に総括する
- イ 三つの観点の評価のA、B、Cを数値に置き換えて総括する
- ウ 評点を基に総括する
- エ その他



ア 三つの観点の評価の組合せを基に総括する	イ 三つの観点の評価のA、B、Cを数値に置き換えて総括する	ウ 評点を基に総括する	
新居浜東高等学校	今治西高等学校(伯方)	川之江高等学校	今治精華高等学校
新居浜西高等学校	北条高等学校	三島高等学校	松山学院高等学校
東予高等学校	松山南高等学校(砥部)	土居高等学校	新田高等学校
丹原高等学校	松山商業高等学校	新居浜工業高等学校	帝京第五高等学校
今治北高等学校	宇和高等学校	新居浜商業高等学校	済美平成中等教育学校
今治工業高等学校	宇和島東高等学校	西条高等学校	西条高等学校(定)
松山北高等学校(中島)	宇和島東高等学校(津島)	西条農業高等学校	松山工業高等学校(定)
伊予農業高等学校	北宇和高等学校	小松高等学校	大洲高等学校(肱川)
大洲高等学校	松山東高等学校	立今治南高等学校	宇和島東高等学校(定)
内子高等学校	新居浜西高等学校(定)	今治北高等学校(大三島)	松山東高等学校(通)
八幡浜高等学校	松山南高等学校(定)	松山東高等学校	今治精華高等学校(通)
宇和島水産高等学校	松山商業高校(定)	松山工業高等学校	未来高等学校(通)
松山西中等教育学校	松山聾学校	上浮穴高等学校	
愛媛大学附属高等学校		大洲農業高等学校	
済美高校		内子高等学校(小田)	
聖カタリナ学園高等学校		八幡浜工業高等学校	
愛光高等学校		川之石高等学校	
松山聖陵高等学校		三崎高等学校	
新田青雲中等教育学校		野村高等学校	
川之江高等学校(定)		吉田高等学校	
八幡浜高等学校(定)		北宇和高等学校(三間)	
松山盲学校		南宇和高等学校	
しげのぶ特別支援学校		今治東中等教育学校	
新居浜特別支援学校		宇和島南中等教育学校	
新居浜特別支援学校(川西)		FC今治高等学校明徳校	
エ その他			
新居浜南高等学校	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。		
今治西高等学校	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。ただし、三つの観点の評価の組合せを基にした評定を優先する。		
弓削高等学校	①観点の組合せ、②評点、の優先順位		
松山南高等学校	評点と三つの観点の評価の組合せをもとに総括する。		
松山北高等学校	観点の組合せと評点を併用して総括する		
松山中央高等学校	三つの観点の評価組合せを優先するが、評点による総括も併用する。		
東温高等学校	評点と三つの観点の組合せで総括する		
伊予高等学校	観点の組合せと評点を併用して総括する		
長浜高等学校	評価の整合性・妥当性を担保するため、三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。		
今治西高等学校(定)	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。ただし、三つの観点の評価を基にした評定を優先する。		
みなら特別支援学校	文章で表記している。		
みなら特別支援学校(松山城北)	学習評価が文章表記であるため。		
今治特別支援学校	三つの観点を文章で表記する		
宇和特別支援学校(知的)	3観点で文章により端的に表す。		
新居浜特別支援学校(みしま)	三観点で文章により表記する。		
愛大附属特別支援学校	評定の記載なし		

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、どのように行っているか。

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	授業中の発言内容、ノート・小テストなどの記述内容、定期考査における事前予告問題の解答状況を点数化して評価している。
2	三島高等学校	授業への取組状況、課題や提出物等への取組状況を踏まえて行っている。
3	土居高等学校	日々の授業への取り組み方や振り返りシートの内容などで評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	授業や活動の様子、課題の取り組み具合、自己評価をもとに行っている。
5	新居浜西高等学校	各教科の評価の観点の趣旨に照らし、課題提出や授業時の取り組みを通して、思考力・判断力・表現力を身に付けることに、粘り強く取り組もうとしているかを判断している。
6	新居浜南高等学校	課題・ノートの提出やレポートにおける記述、自己評価、授業中の発言やグループ活動、発表における行動観察で評価を行っている。
7	新居浜工業高等学校	・座学系科目：課題等の提出物や授業ノート、授業の取組や発表の内容を総合的に判断し、評価している。 ・実習等科目：工業技術基礎・実習・課題研究などの科目については、各成果発表やレポート、活動に取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価している。
8	新居浜商業高等学校	授業への参加状況、活動内容やレポート等の提出状況をもとに評価している。
9	西条高等学校	提出物の記述内容等により、単元の学習前後の変化を把握し評価を行う。また、各教科で作成したルーブリックを用いた生徒の自己評価も参考にしている。
10	西条農業高等学校	・以下の項目への粘り強い取組を通して、自らの学びを把握し、試行錯誤しながら、自らの学習を調整しようとしているかを評価する。 ・授業のノートや課題、レポート、作品、実技、実習などの様子 ・グループワーク、ペアワーク、教え合い活動など、授業中の行動観察 ・小テストや定期考査の訂正・解き直し ・ルーブリック自己評価表
11	小松高等学校	ノートやレポートによる記述、授業中の発言、行動観察などを記録し、生徒による自己評価や相互評価なども合わせて評価している。
12	東予高等学校	生徒の活動状況や提出物などを細かく記録し、積み上げた結果が評価の合計となるようにしている。
13	丹原高等学校	提出物や授業への取組などから総合的に評価する。
14	今治西高等学校	提出物・授業プリント・ノート等の記述内容、行動観察で評価を行っている。
14	今治西高等学校(伯方)	出欠状況、発表、レポート等による。
15	立今治南高等学校	自らの学習状況を把握し、自らの学習を調節しながら学ぼうとしているかどうかという意識的な側面について、①ノートやレポート等における記述、②実験・実習を含めた授業中の発言、③教師による行動観察、により評価している。
16	今治北高等学校	各教科に任せて検討してもらっている。
16	今治北高等学校(大三島)	授業への取り組みや課題の提出状況、授業振り返りシートなどの記述内容をもとに授業担当者が評価している。
17	今治工業高等学校	ノート、レポート等の記述や授業中の活動から「粘り強く取組を行おうとする側面」、「学習を調整しようとする側面」がどの程度達成されているかを評価している。具体的には、指導者による行動観察、生徒の自己評価・相互評価等による。
18	弓削高等学校	パフォーマンス課題や個人内評価、授業内の様子等で評価している。
19	北条高等学校	リフレクションシート等を利用している。
20	松山東高等学校	ワークシート及び提出物の記載内容、パフォーマンス課題、授業中の活動観察記録
21	松山南高等学校(砥部)	生徒の自己評価や提出物の状況を見て評価 作品の提出状況、ステップごとの意欲、準備物、進捗などから ノート、ワークシート、作品から取組の様子を読み取る。
21	松山南高等学校	振り返りシートの内容や提出物の取組状況・内容などを評価する。
22	松山北高等学校	各教科がそれぞれの特徴に合わせて適切に評価しています。
22	松山北高等学校(中島)	課題の提出、授業態度、自己評価等
23	松山中央高等学校	各教科によって異なるが、振り返りシートによる発展的な内容への取組やパフォーマンスシート、実験・実習レポート、ワークシートなどへの取組等で評価している。
24	松山工業高等学校	リフレクションシートの定期的な回収、パフォーマンス課題、授業中の観察などにより評価している。
25	松山商業高等学校	授業への取り組み、提出プリント類
26	東温高等学校	ノート等の提出物における記述や授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価等の状況をふまえて評価している。
27	上浮穴高等学校	提出課題やノート、授業中の発言やグループ活動等で評価している。
28	伊予農業高等学校	提出物の提出状況や記載内容、レポートや調べ学習への取組、生徒による自己評価(振り返りシート)、授業中の発言や態度などをチェックして評価している。

29	伊予高等学校	課題、グループワーク、プレゼン等の取組状況や成果を各教科の評価規準に基づいて算出する。
30	大洲高等学校	各教科で基準を設定している。課題等の取り組み、授業中の発言や様子など評価している。
31	大洲農業高等学校	授業中の態度や発言内容、ノートやプリント等の記述内容などを総合的に評価している。複数の教員で確認して、評価に偏りがないようにしている。
32	長浜高等学校	各教科・科目の評価規準・評価の観点に照らして、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等の状況进行评估する。
33	内子高等学校	・課題の提出状況 ・振り返りシート(学習内容、自己評価、質問)を書かせ、特に学習内容がしっかりと書かれているかチェックしている。
33	内子高等学校(小田)	授業中の発表や発言、また小単元ごとの確認テスト(小テスト)等の状況などを中心に行っている。
34	八幡浜高等学校	科目ごとに評価項目・評価規準を定めて、評価している。
35	八幡浜工業高等学校	評価基準を基に、授業での発表やレポートの内容、提出物の状況などを基に評価している。
36	川之石高等学校	ノートやレポート等の提出物、授業態度等を基に評価している。
37	三崎高等学校	レポートやグループワーク
38	宇和高等学校	ノート等の記述、授業中の発言、行動観察等。
39	野村高等学校	授業中の生徒の様子の観察。ノートやレポートの記述内容。
40	宇和島東高等学校	ノート、レポート、授業中の発言・学習に取り組む態度を測るルーブリックに基づく評価
40	宇和島東高等学校(津島)	授業での発言、ノート記入、課題の提出などで評価する。
41	宇和島水産高等学校	粘り強く知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現しようとしているか。自らの学習を調整しようとしているか。このような意思的な側面を捉えて評価している。
42	吉田高等学校	課題の提出状況や授業での発問・取り組み状況等を総合的に判断し、評価している。
43	北宇和高等学校	授業ノートやレポート内容、課題へに取り組む方などを総合的にみて判定する
43	北宇和高等学校(三間)	ノートやレポート等における記述、授業中の発言の内容、大項目ごとの学習の振り返りの記述などを評価の資料とする。
44	南宇和高等学校	課題の提出状況や授業における行動観察、生徒による自己評価や相互評価をもとに評価する。
45	今治東中等教育学校	課題の提出状況のみで評価することがないように留意する。観点の重み付けは全体の20～35%程度としている。
46	松山西中等教育学校	教科・科目の特性を考慮して、観察、質問紙、レポート、実験、実習、実技、制作物、授業の出席状況、ポートフォリオ等を総合的に評価している。
47	宇和島南中等教育学校	粘り強い取組や、自らの学習を調整しようとする側面を評価する。
55	愛媛大学附属高等学校	授業中の態度や発表内容、課題の取組状況などから総合的に評価している。
57	FC今治高等学校明徳校	学習記録・振り返りの活用や提出物・課題の取り組み状況
58	今治精華高等学校	授業態度・提出物の提出状況等をもとに各授業担当者が評価する。
60	済美高校	提出物やレポートの内容、授業中の発言や取り組み方を総合的に評価する
61	聖カタリナ学園高等学校	授業態度のルーブリック評価(授業評価)と提出物などの評価(課題評価)を合算して算出 定期試験とは切り離して考えるようにしている。
62	松山東雲高等学校	提出物や授業態度、考査終了後の振り返りシートのなどの活用
63	松山学院高等学校	評価する場面を各科目で設定し、行っている。
64	新田高等学校	授業への意欲、提出物やその内容を中心に評価している。
65	愛光高等学校	授業中の発言や態度、提出物の中身などを総合的に判断して行っている。
66	松山聖陵高等学校	授業態度や提出物、グループワーク時のレポートなどを基に評価する。
68	帝京第五高等学校	各教科に一任
69	済美平成中等教育学校	課題やノートの提出状況・整理状況が、教員が求めている以上の取り組みであるようなものについて、平常点として高く評価している。
70	新田青雲中等教育学校	定期考査等の実施後に、自らの学習についてのPDCAサイクルの改善点を考えさせるため、次の目標設定や学習計画を、教科担当者や担任に提出させている。また、その際の評価の規準を生徒に示している。計画表通りの単語テストや予告なしの確認テストにより、生徒の継続的な学習態度を評価している。
1	川之江高等学校(定)	ノートやレポート等の提出物、授業中の活動状況等をもとにして総合的な評価を行う。
5	新居浜西高等学校(定)	ノート、ワークシート等の提出物や授業内での発表(発言)、グループ活動などを総括して行う。
9	西条高等学校(定)	授業中の発言や学習の成果物を提出させて評価を行っている。
14	今治西高等学校(定)	提出物、授業中の発言、行動観察、自己評価(振り返り)等を基に評価する。
20	松山東高等学校(通)	レポートの提出状況(提出日、提出回数、点数等)
21	松山南高等学校(定)	成果物の提出、授業中の様子(態度や班活動での発言、発表等)などから行っている。
24	松山工業高等学校(定)	ノートやレポート等の記述、授業中の発信、教師による行動観察、生徒による自己評価等を考慮して評価する。
25	松山商業高校(定)	出席状況、課題への取組状況、授業態度などにより評価

30	大洲高等学校(肱川)	各教科担任に一任している。ノートや振り返りシート、レポート、プレゼンテーション等を例に挙げている。
34	八幡浜高等学校(定)	授業中の発言内容やグループ学習の発表・相互評価を評価の参考にする。
40	宇和島東高等学校(定)	教材や活動ごとにルーブリックを作成し、それに基づいて評価を行う。
58	今治精華高等学校(通)	レポート学習を基準に評価しているが、3課程であるがゆえの難しさを感じている。
67	未来高等学校(通)	面接指導への参加姿勢や報告課題の該当設問の得点で評価している。
48	松山盲学校	各教科において年度当初に評価規準を設け、出席や、授業の中で出てきた課題に対して、児童生徒がどういった姿勢で臨んでいるかで評価している。例えば、新傾向の問題に対して既習事項をどう応用させて考えるか、自らの疑問をどういう手段で解決しようとしているかなどの姿勢を評価している。
49	松山聾学校	授業態度、ノートやレポート、定期考査などのテストへの取組・結果、プレゼンテーション、グループワークでの言動、宿題などの自主学習、アンケート等で評価している。
50	しげのぶ特別支援学校	一般学級においては、授業中の態度や発言、ノートへの記述、振り返りシートの活用、教師による行動観察等を行いながら、評価に反映させている。 重複障がい学級においては、日々の学習活動の中で直接的に児童生徒の良さを伝えたり、称賛したりするとともに、学習活動の評価を文章表記したりしているため、その中で記載している。
51	みなら特別支援学校	学習態度の観察や生徒が記入したワークシートなどから、総合的に評価を行っている。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・授業後にメモしたり、教員間で情報交換したりしている。 ・児童生徒の様子を観察し、文章で評価している。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	授業で使おう、生かそうとしたこと、次の学習への期待が高まる言動や行動が見られたこと、他の授業場面や日常生活、将来の生活に向けて生かそうとしたこと、活動に意欲を示すようになったことなどを評価する。
54	新居浜特別支援学校	文書表記
54	新居浜特別支援学校(川西)	授業の振り返りシートを活用し、児童生徒の学習に取り組む姿勢や意欲について観察記録を行い評価している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	児童生徒の学習に取り組む姿勢や意欲について授業者間で話し合い、文章で評価している。
56	愛大附属特別支援学校	行動しようとする内面の働きと自らの行動を調整しようとする姿の二つの面から評価を実施している。

(4) 「総合的な探究の時間」の評価について、どのように行っているか。

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	取組状況を評価する観点に基づいて、担任もしくは探究活動担当が評価し、教務情報処理課が作成した文例に従って担任が入力する。
2	三島高等学校	生徒の自己評価と教員による評価をもとに、総合的な評価を行っている。班別で取り組んでいる「課題研究」については、教務課作成の評価例をもとにして担当教員が文章を作成し評価している。
3	土居高等学校	振り返りシートを使って、評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	自己評価および生徒間での相互評価をもとにして、指導者が総合的に評価をしている。
5	新居浜西高等学校	アンケート、振り返りシートにて自己評価させたものを参考にして評価している。
6	新居浜南高等学校	ルーブリックによる評価を行っている。授業ごとに提出させたレポート(学習内容と自己評価)に担任が段階評価を書き込み返却。学期末及び年次末に総括している。
7	新居浜工業高等学校	・「課題研究」に代替しているため、「総合的な探究の時間」としての評価は実施していない。
8	新居浜商業高等学校	商業科目の課題研究で代替している。
9	西条高等学校	学校設定教科「マルチサイエンス」にて代替している。
10	西条農業高等学校	・行動観察やレポート、作品、プレゼン発表などを通して、3観点について評価し、文章を作成している。
11	小松高等学校	学習評価の手引を基にルーブリックを作成し、評価している。
12	東予高等学校	「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替している。2年生の「課題研究」の評価については、インターンシップに関係する内容を中心に評価するので、工業教育推進課・各工業科長とも連携を図りながら、昨年度までの評価規準をベースにしながら観点別評価を行い、更なる検討・改善を図りたい。
13	丹原高等学校	教務課でルーブリックを作成し、担任及び生徒の自己評価をもとに評価している。
14	今治西高等学校	生徒の活動内容、振り返りシート等を総括して評価している。
14	今治西高等学校(伯方)	班別研究の担当教員が、レポート、発表等をもとに行う。
15	立今治南高等学校	ルーブリック評価に似た評価シート(生徒用・教員用)を作成し、主に正副担任が評価を総括している。
16	今治北高等学校	地域魅力課(総合的な探究の時間の担当)が主体となり、審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	調べ学習を含めた探究活動を班で行っているが、担任だけでなく班の担当教員も活動状況や成果物をもとに評価し、担任が総括している。
17	今治工業高等学校	本校では「課題研究」により代替しており、各小学科のものづくり活動、問題解決に向けた探究活動を通じて、適切に評価している。
18	弓削高等学校	「総合的な探究の時間」の担当教員が中心となりながら、各講座の担当者が評価している。
19	北条高等学校	観点別に評価している。
20	松山東高等学校	自己評価、課題研究ではルーブリック評価(学校設定教科「総合」で代替)
21	松山南高等学校(砥部)	インターンシップの活動状況を文章で評価
21	松山南高等学校	レポート等の内容や活動状況をルーブリックをもとに評価する。(STEAM探究、スーパーサイエンス)
22	松山北高等学校	学習または活動状況から観点に合わせて文章で評価しています。
22	松山北高等学校(中島)	評価シートを用意し、担当教員3名で○を入力する。最後に集約して文章にまとめる。
23	松山中央高等学校	主に担当する担任・副担任が、評価例に示している文言を使用し評価している。
24	松山工業高等学校	「総合的な探究の時間」は実施していない。
25	松山商業高等学校	課題研究で代替している。
26	東温高等学校	指導者による活動状況の観察や生徒による相互評価等をふまえて行っている。
27	上浮穴高等学校	レポートや課題研究への取組状況で評価している。
28	伊予農業高等学校	レポート等をもとに3つの観点を評価し、3つの観点の総括から評価を算出して、評定に応じた文言で評価している。
29	伊予高等学校	観点別に評価規準を設け、ABCの3段階で評価する。ABCの評価は文章記述による。
30	大洲高等学校	主に担当する各探究グループの教員が、評価基準を基に行っている。
31	大洲農業高等学校	提出物や取り組み状況を踏まえて、ルーブリックを基に評価している。「課題研究」での代替分については、科目の中で評価している。
32	長浜高等学校	各学年の学習活動に対し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点をもとに、評価について学年団を中心に原案を作成・審議したうえで、文章を記入する。

33	内子高等学校	各学年で評価を統一している。
33	内子高等学校(小田)	主管課である魅力化推進室と進路課を中心に、学習活動、観点、評価のそれぞれのひな型となるものを作成している。 年度末に生徒一人一人に対して、ホームルーム担任がひな型を踏まえて記入している。
34	八幡浜高等学校	学年ごとに文章で評価している。
35	八幡浜工業高等学校	課題研究で代替しているため、課題研究にて評価している。
36	川之石高等学校	生徒の学習状況、自己評価、感想などから総合的に評価している。
37	三崎高等学校	ルーブリック評価
38	宇和高等学校	評価の観点等を明確にし、生徒の状況を総合的に評価。
39	野村高等学校	ルーブリックを活用して評価している。
40	宇和島東高等学校	・プレゼンテーションやポスター発表などの評価 ・言語活動の評価 ・論文、報告書、レポートなどの成果物の評価 ・学校独自の評価基準(宇東ICEモデル)に基づく評価
40	宇和島東高等学校(津島)	レポートや発表により担当者が評価する。
41	宇和島水産高等学校	本校は、3年次の課題研究で代替しており、各学科で評価基準を設定している。
42	吉田高等学校	生徒を担当した教員が、生徒の取組状況やレポート等を評価基準に基づき評価している。
43	北宇和高等学校	活動の状況や発表会の内容、授業時間以外での取り組みの様子などを総合的にみて判断している
43	北宇和高等学校(三間)	複数の担当教員の視点をもとに、学年全体で一人一人の評価を審議している。
44	南宇和高等学校	レポートや課題発表の内容をもとに各分野の担当者が評価を行う。
45	今治東中等教育学校	設定した評価の観点等を基に、学習の状況や成果などについて多面的に評価することとし、所見等を年度末に文章で記述している。
46	松山西中等教育学校	評価の観点を踏まえ、生徒の学習状況における顕著な変化やその特徴など、身についた力を評価している。
47	宇和島南中等教育学校	課題研究において、主に、理解したこと、考察したこと、貢献しようとしていること、の3つの観点について、顕著な事項について文章で記述する。
55	愛媛大学附属高等学校	課題研究として、愛媛大学の先生の指導を受けながら「総合的な探究の時間」の活動としているので、大学の先生と本校教員がそれぞれルーブリック評価をしている。生徒指導要録に記載する評価については、本校教員が生徒の自己評価、大学教員からの評価を基に文章での評価をしている。
57	FC今治高等学校明徳校	学習記録・振り返りの活用や提出物・課題の取り組み状況
58	今治精華高等学校	各担当者が総合的に評価する。
60	済美高等学校	観点ごとに評価基準を作成し、達成度を測る。達成度と活動内容を組み合わせて評価する
61	聖カタリナ学園高等学校	1年間の取り組み姿勢や発表態度を反映させる。
62	松山東雲高等学校	校内での発表会や毎時間提出のレポートによる。
63	松山学院高等学校	生徒の活動状況、成果物等をもとに、担当教員が文章で評価している。
64	新田高等学校	調べ学習の自己評価、発表の生徒間評価と教員が評価したものを合わせて評価している。
65	愛光高等学校	担当の先生にまかせているが、基本的に授業中の発言や態度、提出物の中身などを総合的に判断して行っている。
66	松山聖陵高等学校	課題に対する取り組みや自己評価、他の生徒や教員からの感想などから評価する。
68	帝京第五高等学校	評価は出していない
69	済美平成中等教育学校	総合学習委員会を設置し、学年ごとに活動に取り組み、設定した観点にしたがって評価している。
70	新田青雲中等教育学校	探究を行う題材選びから始め、調査の目的や計画を、評価の基準と照らし合わせ、それらを総合して記述による評価を行っている。
1	川之江高等学校(定)	生徒の自己評価、活動の状況などから担当者が評価する。
5	新居浜西高等学校(定)	活動内容、制作物などを毎時間評価(自己評価も含む)するとともに各講座の成果発表を総括して行う。
9	西条高等学校(定)	各総探担当者が活動の取り組みの様子や発表内容などを参考に評価を行っている。
14	今治西高等学校(定)	学期末毎に評価シート(生徒用・指導者用)で4段階評価及び振り返り等を実施し、それらを基に総合的に判断し評価を行う。
20	松山東高等学校(通)	レポートの内容
21	松山南高等学校(定)	3つの観点を設定し、その観点を踏まえた評価を学年団で話し合って決定している。
24	松山工業高等学校(定)	課題研究で代替えている。
25	松山商業高校(定)	商業科目「課題研究」で代替している。
30	大洲高等学校(肱川)	観点は一律で定めており、各担当が文章で評価する。ただし、校務支援システムでは入力できる文字数が不足している。
34	八幡浜高等学校(定)	「情報の活用と資格の研究」「情報の活用と生涯スポーツ」の2つのコースを選択制として活動し、3学期にコース別の発表会を実施している。自己評価や相互評価を行い、評価の参考にしている。
40	宇和島東高等学校(定)	各講座で目標に即したルーブリックを作成するなどして、評価を行っている。
58	今治精華高等学校(通)	クラス担任による評価

67	未来高等学校(通)	提出された報告課題の内容により評価している。
48	松山盲学校	あらかじめ指導する教師間において、評価の観点や評価規準を確認し、これに基づいて児童生徒の学習状況を評価している。また、適切な評価ができるように、異なる評価方法や評価者による多様な評価を適切に組み合わせることを意識している。以下にその評価の例を挙げる。 ・学習活動の状況などの観察による評価 ・レポート、プレゼンテーション、絵などの制作物による評価 ・学習活動の過程や成果などの記録や作品を計画的にまとめた中間発表の内容評価 ・課題研究の中で身に付けた力を用いたパフォーマンス力の評価 ・教師や他学年の児童生徒等による他者評価 など すべての過程を通して、児童生徒の実態や学習状況を把握し、適切な指導に役立てられるよう、学習を通して児童生徒の長所や学習やスキルの進歩の具合などを積極的に評価することを教師間の共通認識としている。
49	松山聾学校	教員による観察、成果、自己評価、相互評価、教師による評価などをもとに、文書による評価をしている。
50	しげのぶ特別支援学校	本校における各部の評価の観点を設定し、それに基づいて行っている。
51	みなら特別支援学校	学習の目標と学習活動を観察し、発表した成果や生徒の変容を文章で表記している。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・高等部においては、年度末に、各学年で一年間の活動を振り返り、育成を目指す資質・能力や活動内容、各教科等との関連を検討・見直しをし、次年度の年間指導計画に反映している。それらをもとに活動することで、育成を目指す資質・能力を意識しながら学習過程自体を具体的に評価できるようにしている。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	総合的な探究の時間の目標を踏まえ、3観点で文章により端的に表す。
54	新居浜特別支援学校	全体計画に示した目標等を基に評価する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	観点別の学習状況評価を基本として行っている。各部で定めた目標、内容、指導上の配慮事項を踏まえて評価の観点を設定している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	中学部の総合的な学習の時間において、数値的な評価はせず、生徒にどのような力が身に付いたか文章で記述している。自己評価、相互評価など多様な評価を組み合わせ、結果よりも過程を評価するよう心掛けている。
56	愛大附属特別支援学校	評価基準を設け、それに沿った評価をしている。

(5) 「特別活動（ホームルーム活動等）」の評価について、どのように行っているか。

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	取組状況を評価する観点に基づいて、担任が評価し、学年会において相互点検を行い、評価を確定する。
2	三島高等学校	生徒の自己評価と教員による評価をもとに、総合的な評価を行っている。
3	土居高等学校	振り返りシートを使って、評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	ルーブリックを作成し、自己評価をもとに総合的な評価を行っている。また、クラス間で不公平感が出ないように学年会で教員同士が話し合いをした上で評価を行っている。
5	新居浜西高等学校	アンケート、振り返りシートにて自己評価させたものを参考にして評価している。
6	新居浜南高等学校	担任が活動ごとに評価を記録し、年次末(3年次は7月と年次末)に総括する。総括は年次会でクラス間のバランスを取りながら一人一人について決定する。
7	新居浜工業高等学校	・「キャリア・パスポート」への記載事項や、ホームルーム活動、委員会活動、各学校行事に対して取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価している。
8	新居浜商業高等学校	校内で特別活動(ホームルーム活動等)の評価規準を設け、各担任が評価を行っている。
9	西条高等学校	ルーブリックを用いた生徒の自己評価と担当教員による評価を基に、内容のまとまりごとに総合評価を行う。
10	西条農業高等学校	①ホームルーム活動 活動中での行動観察や、発表、ワークシートなどを通して、評価の観点について十分満足できる活動の状況にあると判断される場合、○印を記入する。 ②生徒会活動 「委員会」「生徒会役員」「農業クラブ役員」「家庭クラブ役員」で活躍した生徒に○ ③学校行事 学校行事で発表をするなどして、活躍した生徒に○ ・学年末に、担任が原案を作成し、学年会で「十分に満足できる活動の状況」かどうかを判断する。
11	小松高等学校	評価規準と補助簿を作成し、評価している。担任会にて、○の数を検討している。
12	東予高等学校	学校が定めた特別活動に係る評価規準に照らして、3項目(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)について、評価する。各ホームルーム担任が、生徒の自己評価表も参考にしながら、生徒の活動状況を多面的に評価し、各項目について、十分に満足できる活動の状況にあると判断される場合に○を付ける。個人に3つ○をつけてもよいが、○の上限は各ホームルームで、全体で30～50パーセント(生徒ひとりあたりの平均1.5個)以内とする。担任→学年主任(学年会)→特活課長→教務課長(進級認定会議)の順番に確認・認定を行う。
13	丹原高等学校	教務課・特活課でルーブリックを作成し、担任及び生徒の自己評価をもとに評価している。
14	今治西高等学校	生徒の活動内容、振り返りシート等を総括して評価している。
14	今治西高等学校(伯方)	ホームルーム担任が活動状況について評価を行う。
15	立今治南高等学校	ホームルーム担任が面談などで生徒から活動状況について聞き取りを行ったり、各活動の担当教員から活動内容とその評価を連絡してもらい、評価の総括を行っている。
16	今治北高等学校	学年団が主体となり、審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	担任が生徒会担当者や学年団の教員と協力し、具体的な活動内容をもとに評価している。
17	今治工業高等学校	本校の基準に照らして、各ホームルームの担任を中心に評価を行い、学年会や各種会議で審議している。3項目に対して個人の上限・下限は設定していないが、クラス平均を設定しクラス間の差が不必要に大きくならないように配慮している。
18	弓削高等学校	各ホームルーム担任が評価している。
19	北条高等学校	観点別評価を行っている。
20	松山東高等学校	評価規準を設けて○を付ける項目を決定している。特活課主導で行っている。
21	松山南高等学校(砥部)	特別活動の各項目ごとに、特に活動が顕著であると認められたものに○を付けるようにしている。
21	松山南高等学校	評価規準を設け、該当する活動があれば「○」。
22	松山北高等学校	ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事での活動状況や各種委員会、生徒会での活動状況から評価しています。
22	松山北高等学校(中島)	学年主任、担任、副担任で評価し、最後に担任が集約して○を入れる。
23	松山中央高等学校	学校として統一できていない。自己評価シートなどにより評価しているクラスもある。今後、検討が必要である。
24	松山工業高等学校	生徒の自己評価シートや、教師による活動中の観察などにより、ホームルーム担任が評価している。

25	松山商業高等学校	各活動・学校行事ごとに「十分満足できる活動の状況にある」と判断された場合指導要録の評価の欄に「○」を記入する。また、特筆すべき活動を行った場合は文章で記載する。
26	東温高等学校	ルーブリック評価・補助簿(生徒による自己評価)を参考に、特別活動評価シートを使って評価している。
27	上浮穴高等学校	グループ活動への積極的な参加、レポート等で評価している。
28	伊予農業高等学校	学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動において、評価シートにホームルーム担任をはじめ、関係教員がその都度評価し、年度末に総括して評価している。
29	伊予高等学校	観点別に評価規準を設け、自己評価や担当者の評価を基にABCの3段階で評価する。
30	大洲高等学校	個々の生徒の活動状況について担当者間で情報交換し、○を記入している。
31	大洲農業高等学校	活動中の様子の観察や提出物、ワークシートの記述内容、自己評価等によって総合的に評価している。
32	長浜高等学校	評価の観点「よりよい生活を築くための知識・技能」「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」をふまえ、学年団を中心に原案を作成・審議したうえで、ホームルーム活動等ごとに十分満足できる活動に○印を記入する。
33	内子高等学校	各学年で評価を統一している。
33	内子高等学校(小田)	主管課である生徒課を中心に、各種行事の活動、観点、評価の記入枠を準備している。行事終了後や年度末に、全教員を対象に気付いたことを入力してもらい、その内容を踏まえて、ホームルーム担任が評価を総括している。
34	八幡浜高等学校	ホームルーム担任を中心に、各学年で評価している。
35	八幡浜工業高等学校	特活課を中心に学校行事や生徒会活動などの項目ごとに、関係教員が事前評価を行う。その事前評価を取りまとめ、ホームルーム担任が基準を参考にして原案を作成する。その後、学年会での協議により最終の評価を決定している。
36	川之石高等学校	特別活動課が作成した評価基準を基に評価している。
37	三崎高等学校	ホームルーム活動記録
38	宇和高等学校	生徒の状況を総合的に評価。
39	野村高等学校	生徒の様子の観察や自己評価を基に評価している。
40	宇和島東高等学校	・特活課が策定した評価規準に基づき、担任が評価を行い、学年主任が調整する。
40	宇和島東高等学校(津島)	ホームルーム担任を中心に評価する。
41	宇和島水産高等学校	各ホームルーム担任を中心に、副担任・学年主任や学年団で調整を行っている。
42	吉田高等学校	ホームルーム活動や学校行事等において、担任・副担任を中心に生徒の取組状況を総合的に評価している。
43	北宇和高等学校	活動の状況や発表会の内容、班での協調性などを担任と副担任が総合的にみて判断している
43	北宇和高等学校(三間)	複数の担当教員の視点をもとに、学年全体で一人一人の評価を審議している。
44	南宇和高等学校	授業中の活動や提出物の記述内容により評価する。
45	今治東中等教育学校	設定した評価の観点を基に、多面的、総合的に評価することとしている。
46	松山西中等教育学校	評価の観点を踏まえ、生徒の活動状況における成長やその特徴など、身についた力を評価している。
47	宇和島南中等教育学校	学校が定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、その評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断されるかどうかを学年会で決定して○印を記入する。
55	愛媛大学附属高等学校	最も関りの多い担任と副担任で評価をしている。
57	FC今治高等学校明徳校	生徒の自己評価・振り返りの活用
58	今治精華高等学校	各担任が総合的に評価する。
60	済美高等学校	活動内容や役割をもとに評価基準に沿って評価する
61	聖カタリナ学園高等学校	学年主任および学級担任が評価
62	松山東雲高等学校	学期や行事ごとに行う生徒個人の振り返り
63	松山学院高等学校	学年部、HR担任を中心に、その他の担当教員に情報収集を行い、十分満足した項目に○をつけるようにしている。
64	新田高等学校	専用の評価シートを作成し、それに基づいて評価している。
65	愛光高等学校	授業中の発言や態度などを総合的に判断して行っている。
66	松山聖陵高等学校	生徒の取り組み状況を総合的に評価。
68	帝京第五高等学校	担任に一任
69	済美平成中等教育学校	HR活動については、担任が生徒の取り組みを客観的に評価している。
70	新田青雲中等教育学校	グループ活動を基盤とし、実施計画をたてたり、その計画が計画通りできたかどうか、加えてグループの中での役割を担任が見て、規準と照らし合わせて評価を行っている。
1	川之江高等学校(定)	ホームルーム担任が、生徒の活動状況や出席状況などから判断している。
5	新居浜西高等学校(定)	ホームルーム活動については毎時間の記録を参照する。各学年での学校行事等について、講演会での感想や運動会での活動(種目や係)を総括して行う。
9	西条高等学校(定)	特活課が定めた評価規準(生徒会活動・部活動・委員会活動など)を参考に評価を行っている。
14	今治西高等学校(定)	学期末毎に評価シート(生徒用・指導者用)で4段階評価及び振り返り等を実施し、それらを基に総合的に判断し評価を行う。
20	松山東高等学校(通)	出席状況で評価を行っている

21	松山南高等学校(定)	各クラスの人数が少ないので、生徒それぞれの年間の取り組みを学年団で振り返り、特別活動の評価を決定している。
24	松山工業高等学校(定)	学校生活を充実させるため、他者を尊重し課題解決に努め、人間関係をよりよく形成しているかを考慮して評価する。
25	松山商業高校(定)	生徒会活動への参加や学校行事等で果たす役割などを評価
30	大洲高等学校(肱川)	観点は一律で定めており、指導要録における「○」については、年度末に担任及び生徒会担当に原案を作成してもらい、全教職員に回覧、決済をもらって決定している。
34	八幡浜高等学校(定)	ホームルーム担任・副担任により、学習成果を文章で表現し評価している。
40	宇和島東高等学校(定)	ホームルーム担任が生徒の参加状況、活動の様子を把握するようにしている。
58	今治精華高等学校(通)	活動報告書をもとに評価
67	未来高等学校(通)	出席状況及び参加姿勢で評価している。
48	松山盲学校	特別活動についてはホームルーム活動以外に児童会活動、生徒会活動、学校行事を含め全体計画を作成し、それを基にホームルーム活動については年間計画を定めている。また、部ごとに共通の観点別評価を設定し、ホームルーム活動のみではなく、学校行事等、総合的に特別活動の様子を観察している。
49	松山聾学校	同上
50	しげのぶ特別支援学校	小・中学部では、各学年が定めた特別活動全体計画に係る評価の観点に照らし合わせて評価する。重複障がいでは、児童生徒の良さや可能性を多面的・総合的に評価し、端的に文章で記述するようにしている。 高等部では、教育課程別で評価について整理したものを示し、それに基づいて行っている。
51	みなら特別支援学校	特別活動の中で、成果や変容が見られた活動を中心に文章で表記している。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・学校行事や生活単元学習等に位置付けて(高等部産業科のホームルーム活動は除く)指導している。指導・支援に関わる複数の教師が情報を共有し指導・支援の一貫性や統一性を図り、継続的な指導・支援を行い、児童生徒の活動の様子を観察して、文章で評価している。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	特別活動の目標を踏まえ、3観点で文章により端的に表す。
54	新居浜特別支援学校	全体計画に示した目標等を基に評価する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	観点別の学習状況評価を基本として行っている。各都で定めた目標、内容、指導上の配慮事項を踏まえて評価の観点を設定している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	特別活動の目標を踏まえ、各教科とも関連させながら学習活動を計画・実施している。以下の3点を意識しながら評価している。以下の3点を意識しながら評価している。 ・学級生活の向上やよりよい生活を目指して、他の児童と協力して問題の解決に努めようとしているか。 ・集会活動などに進んで参加し、集団の一員として自分の役割を果たしているか。 ・行事のねらいを理解し、その場にふさわしい態度や望ましい行動がとれているか。
56	愛大附属特別支援学校	合わせた指導の中で評価を行っている。

2 教育課程について

(1) 学習評価の改善の基本的な方向性の一つに、「これまで慣行として行われてきたものでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと」とあるが、自校において学習評価を行うに当たり、見直したものはあるか。また、今後見直すとよいと思われるものはあるか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	挙手の回数を評価に加えることは避けるように伝達している。
2	三島高等学校	定期考査の実施の仕方について、他校の取組状況等を参考にして改善したい。
3	土居高等学校	令和6年度は、1年生が均等クラスになったことから評点平均の見直しを行った。今年度も評点平均等の見直しを検討している。
4	新居浜東高等学校	昨年度に引き続き、1学期中間考査において、2単位科目については考査時間の弾力化を行っている。
5	新居浜西高等学校	主体的な学習態度の評価方法と生徒自身の自己評価の基準について、見直しや工夫が必要である。
6	新居浜南高等学校	成績伝票を紙媒体と電子ファイルを印刷したものから教科担任が選択できるように記載負担の軽減を図った。
7	新居浜工業高等学校	・学期末および学年末での成績処理の際、A・B・Cが混在している評価(例:観点別評価CCA、評点:30点など)が見られた。「知識・技能(技術)」と「思考・判断・表現」の2つの観点と「主体的に学習に取り組む態度」が一体となって評価されていないのが一因ではないかと考える。教科会等で評価の在り方の検討等と呼び掛けてはいるが、各教科の取組の事例を全体で共有し、よりよい評価の在り方を学校全体としてもう少し検討する機運を高める必要があるのではないかと考える。
8	新居浜商業高等学校	成績不振者への指導において、観点ごとに改善点を示し、個別に課題を与えて指導を行うようにした。
9	西条高等学校	生徒全員に対して一律の課題をさせることを見直し、個別最適な指導を図る。
10	西条農業高等学校	○見直したもの ・定期考査について見直し、中間考査を再設した。 ・生徒への個別指導やアドバイスの充実を図った。 ○見直すとよいと思われるもの ・定期考査の問題について、教科書や授業で扱った内容の暗記や再生を主な評価とする問題だけでなく、知識を活用して問題を解決する力、自分の考えを論理的に記述する力、資料を分析・解釈する力などを評価する問題を取り入れること。 ・評価の結果を授業改善に活かすPDCAサイクルの確立。生徒自身による学習状況の改善に繋げるための自己評価や振り返りの機会や、生徒への個別指導やアドバイスのさらなる充実。
11	小松高等学校	学習評価の手引を基に、Excelでの評価シートと評価方法の解説動画を作成し、教員の共通理解を図った。
12	東予高等学校	令和8年度から開設される東予総合高校においては、準備委員会教務作業部会で学習評価について検討をして行きたい。東予高校については、昨年度から大きな変更は考えていないが、実施しながらより良いものにするべく検討・改善を図りたい。
13	丹原高等学校	1学期中間考査を廃止した。
14	今治西高等学校	令和4年度から学習評価の在り方について、学校全体で研究を行ってきた。学習評価を行っていく中で、大なり小なり必要性・妥当性が認められないものに関しては、見直しを行ってきた。本年度は、全学年で観点別学習状況の評価を行っていくので、これまで慣行として行われてきたものだけでなく、昨年度まで問題点についても見直していきたい。
14	今治西高等学校(伯方)	観点別の表示(ABC)の事務処理が煩雑で労を割いたにも関わらず、その有効活用がなされていない。表示について、次期学習指導要領では見直していただきたい。
15	立今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	特になし
16	今治北高等学校(大三島)	特になし
17	今治工業高等学校	観点別学習状況の評価については、昨年度より「評点」を導入することで学習評価のデータを相対的に用いることができるよう改訂した(R6 1年生のみ)。本年度は、全学年で同一の評価規準で実施する。

18	弓削高等学校	昨年度より定期考査を年5回から年3回に減らし、各科目で単元別テスト等を行うことにより、評価の機会の充実を図っている。
19	北条高等学校	1学期中間考査の見直し
20	松山東高等学校	各観点においてABCを付けているが、評定への総括は評点をもとに行っている。評定平均を上げるために、ABCの組み合わせからも評定へ総括してもよいのではという意見があるため、今後検討する。
21	松山南高等学校(砥部)	1学期の中間考査を廃止した。2学期の中間考査については廃止を検討中である。
21	松山南高等学校	特記事項なし。
22	松山北高等学校	特にありません。
22	松山北高等学校(中島)	テストを中心にした評価を見直し、5教科においてもパフォーマンステストやプレゼン作成等による評価の割合を高めた。
23	松山中央高等学校	大きく見直したものはない。教科や科目別評価規準、各科目の単元別評価規準を定めて、生徒に示している。今後も、学習評価の在り方については、随時検討が必要であると思われる。
24	松山工業高等学校	より一層系統的な学習評価を充実させるため、観点別評価基準を見直した。「40～74がB」だったものを「30～74がB」に改定。より公正な運用を図るため、教務規定の文面についても、文言の見直し・修正を行った。
25	松山商業高等学校	評点を廃止し、観点別評価と評定のみにしようとしたが見直しは行っていない。今後も評価の方法については話し合っていきたい。
26	東温高等学校	評点の平均点設定の上限をなくすとともに、授業改善を目的として、学年末評価における各科目の評定平均値に下限を設けた。
27	上浮穴高等学校	現在のところ、ありません。
28	伊予農業高等学校	評点を廃止した。
29	伊予高等学校	令和5年度からホームルームを習熟度別で編成したことに加え、文系コース、理系コースを設置したため、習熟度やコースを考慮した評価の在り方を各教科で研究中である。
30	大洲高等学校	特になし
31	大洲農業高等学校	特にありません
32	長浜高等学校	学校評価アンケート等
33	内子高等学校	三つの観点の評価の組み合わせを基に総括するため、評点を示すことをなくした。
33	内子高等学校(小田)	本校では、様々な支援を必要とする生徒が増加傾向にあるが、その中には板書をノートに整理することを苦手とする生徒もいる。ノート整理を評価の一つとしてきた教科については、生徒の状況に応じた対応が必要となるため、教科主任や授業担当者で話し合う機会を何度か持ってきている。
34	八幡浜高等学校	評価項目等について各教科で見直し等を行っている。
35	八幡浜工業高等学校	ルーブリック評価の導入など、各教科で見直している。
36	川之石高等学校	特になし
37	三崎高等学校	定期考査の実施回数を減らした
38	宇和高等学校	単元(授業1時間等)ごとに観点別評価を実施する必要がある。
39	野村高等学校	観点別評価については、客観的なものになるよう検討する。
40	宇和島東高等学校	・1学期中間考査の実施を見直したいという意見がある。
40	宇和島東高等学校(津島)	評点の廃止。
41	宇和島水産高等学校	今年度、中間考査を3日間の実施としている。
42	吉田高等学校	現段階で、見直したものはないが、考査(特に1学期中間考査)の在り方については見直す必要がある。
43	北宇和高等学校	特になし
43	北宇和高等学校(三間)	学習活動や課題に対する観点別評価を設定し、学習や指導の改善につながる評価にしていきたい。
44	南宇和高等学校	見直しの検討はしていない。
45	今治東中等教育学校	100点法による評価を今後も継続していくか、十分検討していきたい。
46	松山西中等教育学校	春季休業と冬季休業後の課題テストを廃止し、前期課程で学力推移調査を実施している。
47	宇和島南中等教育学校	客観的かつ公正・公平に評価していくことが原則であり、評点を基に観点別学習状況の評価を実施していくことが大切であると考え。
55	愛媛大学附属高等学校	定期考査の点数が学習評価の大部分を占めることがないように、日頃の授業での単元別テストや小テストから学習評価につながるようにしている。それに関連して2学期の中間考査を廃止する検討を行ったが、運営委員会、職員会議にて審議した結果、これまで通り実施することとなった。
57	FC今治高等学校明徳校	特記事項無し
58	今治精華高等学校	特になし。
60	済美高等学校	特になし
61	聖カタリナ学園高等学校	不登校気味な生徒に対して、長期休暇中の補習等を実施予定。また、妥当性が認められる場合は通信教育を実施する(検討中)
62	松山東雲高等学校	適切な定期考査の時期や教科、回数など
63	松山学院高等学校	考査結果だけでなく、普段の授業等での取組状況等をしっかり評価するようにしている。
64	新田高等学校	全学年で一学期の中間考査をとりやめた。普通科1年生の校内実力テストの実施を3回から2回に削減した。課題テストの扱いを検討中である。
65	愛光高等学校	特にありません。

66	松山聖陵高等学校	特になし。
68	帝京第五高等学校	特になし。
69	済美平成中等教育学校	特になし
70	新田青雲中等教育学校	評価実施後に補習授業を強制することを控えている。実施の場合は極力、本人の向上心を確認したうえで、自主的な参加として補習授業を行っている。
1	川之江高等学校(定)	検討中
5	新居浜西高等学校(定)	現在はありません。
9	西条高等学校(定)	特にはない。
14	今治西高等学校(定)	特になし。
20	松山東高等学校(通)	特になし
21	松山南高等学校(定)	単位制であるため、授業の出欠を点数で評価していた時期もあったが、現在は評価に含んでいない。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	現在、定期考査における欠試者の評価方法を見直している。
30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
34	八幡浜高等学校(定)	現時点では特になし。
40	宇和島東高等学校(定)	どのように評価されているのかを生徒が把握できるように、全体や各科目で、観点や評価規準の説明を行っている。
58	今治精華高等学校(通)	「主体的に取り組む態度」の評価方法
67	未来高等学校(通)	放送視聴の取り扱い方について見直しを検討している。
48	松山盲学校	小規模校のため、これまでは学習評価が個々の教員に任せられていた部分が大きかったが、観点別評価の在り方などを中心に、教科会等で評価の方法などについて共有・改善していくようにした。共有化の一つとして、考査問題を各教科主任等で回覧し、適切な考査の実施に向けて検討を行った。
49	松山聾学校	(1)見直したもの 年間指導計画において、観点別評価規準をもとに目標を立て、評価することとした。 (2)今後見直すよと思われるもの 受け身である生徒の主体的な学びを促す目的で、ルーブリックなどを授業に取り入れたい。
50	しげのぶ特別支援学校	一般学級については一昨年度見直して整理をした。重複障がい学級においては、昨年度から、日々の学習活動の中で手立て等を変更していくこともあるため、評価の記述の仕方を見直し、支援や手立てを分離せず、評価の中で合わせて記載するようにした。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	<中学部> ①通知表(個別の指導計画)について、「目標」と「学習の記録」という左右二欄だったが、目標自体に手立てが既に記載されるなどして、左右の違いが分かりにくかったため、昨年度、大幅に見直した。左欄は、「学習内容及びねらい」、右欄には年間指導計画に示された評価規準を踏まえて、その途中段階となる評価基準と手立てやその結果としての学習状況を書く形に変更した。年間指導計画の学習内容を左の欄に記入し、右欄に「〇〇では、～」と学習内容を入れることによって、指導要録にそのまま使える文章もあり、時間短縮になった。 ②「行動の記録」について、通知表を見直した。「行動の記録」として挙げられている10項目をプルダウンから一つ選び、その項目に見合った内容の記載をすることにした。3学期間で合計1～3項目選ばれ、年度末の指導要録作成時にはその中から代表的な項目を選ぶことで、劇的に時間短縮になった。 ③通知表は他にも体裁を見直し、自立活動の記載についても、個別の指導計画との関係性が明確になるようにした。また、通知表はエクセルで作成しているため、記載マニュアル自体をシートに組み込み、別冊の教務マニュアルを手元に用意せずとも、通知表を入力しながら、いつでもすぐにマニュアルや注意点を確認できるようにした。その結果、教務マニュアルも簡略化できた。 ④「特別の教科 道徳」について、個別の指導計画(通知表)では専用の枠で評価していないが、三学期の通知表の様式に組み込み、学年主任と部主事が確認し、訂正したものを指導要録に載せることにした。
51	みなら特別支援学校	教科別に授業内容に合わせた生徒の1段階、2段階の学習評価基準を作成し、使いやすいものになるよう検討している。
52	今治特別支援学校	評価期間が3期制から2期制となった
53	宇和特別支援学校(知的)	今年度から、学期ごとに年間3回の学習評価から、前期・後期の年間2回、学習評価を行うこととした。
54	新居浜特別支援学校	個別の指導計画の評価を、学期ごとに行っていたが、前期・後期の2期に分けることとした。
54	新居浜特別支援学校(川西)	簡潔に指導の様子と個人内評価、評価の観点を整理して示した授業記録シートなどを作成する。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	昨年度より、個別の指導計画の評価を前期・後期の2期に分け評価することとした。
56	愛大附属特別支援学校	年間指導計画及び個別の指導計画を見直し中である。

(2) 今年度の教育課程の実施状況を評価・改善して、来年度の教育課程を編成するに当たり、体制作りをどのように構築しているか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	教育課程研究委員会を年3回実施し、そのなかで必要に応じた議論をしている。
2	三島高等学校	教科会・教科主任会・教育課程委員会を適切に実施し、協議を進めている。商業科の新類型については、開設準備委員会によって協議を進めた。
3	土居高等学校	教科会を週1回程度行い、教育課程委員会を職員会議後に実施し、来年度の教育課程編成に向けて、協議を重ねていく体制を作っている。
4	新居浜東高等学校	校長・教頭・進路課長・学年主任・教科主任・教務課員で組織する教育課程検討委員会で評価・改善について協議している。
5	新居浜西高等学校	教科会等の希望を基に、校内の教育課程委員会を中心に検討して、原案を作成し、改善に向けて協議している。
6	新居浜南高等学校	教頭、教務課長、進路課長、総合学科課長、各年次主任、各教科主任、各系列主任で組織する教育課程検討委員会を年4回実施して検討している。
7	新居浜工業高等学校	・学習指導委員会を各学期に一度実施し、各教科・学科における学習指導と観点別学習状況の評価の在り方についての問題点や課題点などを共有し、改善すべきことなどを議論・検討することになっている。
8	新居浜商業高等学校	年2回の教育課程研究委員会を開き、教科主任、学年主任、進路指導課と連携を図りながら評価・改善を行っている。
9	西条高等学校	管理職、関係課長、教科主任による教育課程委員会を設置している。
10	西条農業高等学校	・学習指導委員会を設置し、教育課程の実施状況を評価・改善して、来年度の教育課程の編成について話し合う体制作りを構築している。
11	小松高等学校	生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を充実させるため、選択科目や学校設定科目を増やしている。そのため、情報科教員の配置や実習助手の確保などの体制を整えている。
12	東予高等学校	令和8年度から開設される東予総合高校においては、準備委員会教務作業部会で新しい教育課程について継続的に検討をしている。東予高校については、教務主任が各教科主任からの意見を取りまとめ、原案を作成し、学習指導委員会で評価・改善について検討する。職員会議で全教職員に検討結果を連絡・確認し、共通認識を図っている。
13	丹原高等学校	年間2回(5月・2月)の教育課程委員会の実施
14	今治西高等学校	教育課程委員会を学期に1回以上、必要に応じて教科主任会を実施し、現状の問題点等を共有して、教育課程の編成に生かしている。
14	今治西高等学校(伯方)	校内で教育課程研究委員会を開き、意思疎通を図っている。
15	立今治南高等学校	年4回の教科指導委員会(4・8・10・1月)および、必要に応じて開催される臨時的教科指導委員会にて、教育課程の検討を行っている。会のメンバーは、教頭・教務主任・進路課長・特活課長・農場長・学年主任・教科主任である。
16	今治北高等学校	教育課程研究委員会で審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	来年度はしまなみ高校がスタートする。1年生については、伯方分校さんと協力して新しい教育課程の準備を進めてきた。
17	今治工業高等学校	学習指導委員会において、検討・立案・確認できるように、昨年度から委員会の実施回数を増やした(2回→3回:各学期に実施)。また、年度途中の改訂等へ対応するために、臨時的学習指導委員会を実施できる体制にしている(R6:3回実施)。
18	弓削高等学校	教育課程編成委員会のほか、本校の在り方について意見を共有する会を開き、本校の今後についての目線合わせを行っている。
19	北条高等学校	教務主任を中心とする教育課程委員会を定期的に行っている。
20	松山東高等学校	各学期に教科指導委員会を実施し、教育課程の見直しを行う。
21	松山南高等学校(砥部)	分校長、教務課長、進路課長、デザイン科長、学年主任、教科主任をメンバーとする教育課程委員会を学期に一度開催して、次年度の教育課程の編成について、協議している。
21	松山南高等学校	必要に応じてSSH推進課を交え、主に教科主任会で検討する。
22	松山北高等学校	教育課程検討委員会を適宜行い、生徒の実態に即した改善を行う体制を構築しています。
22	松山北高等学校(中島)	「総合的な探究の時間」を充実させ、進路実現につなげられるように検討している。
23	松山中央高等学校	年3回、教科指導委員会を開催し、協議する体制が構築されている。
24	松山工業高等学校	学習指導委員会を学期に1回開催している。
25	松山商業高等学校	教育課程について変更がある場合は、教科主任から提案してもらい教育課程審議会を開催する。
26	東温高等学校	月に1回、教育課程研究委員会を実施し、各教科からの要望や意見を集約している。
27	上浮穴高等学校	教科会で評価・分析し、教育課程研究委員会で検討している。
28	伊予農業高等学校	年3回、教科指導委員会を開催し、問題点や改善点を協議している。
29	伊予高等学校	年間4回の教科指導委員会を実施している。
30	大洲高等学校	教育課程委員会を組織し継続審議している。また、令和8年度の大洲農業高校との統合に係る教育課程編成を、両校教務主任間での連携を密にしている。
31	大洲農業高等学校	大洲高校との統合に向けて、準備委員会、作業部会等で両校が連携して検討している。
32	長浜高等学校	管理職のリーダーシップのもと、教科会・学年会等での意見を集約し、教育課程委員会・職員会議で議論を重ねて教育課程編成にあたる。
33	内子高等学校	教育課程委員会と教務課で令和8年度の教育課程を検討している。

33	内子高等学校(小田)	教育課程委員会を、年間5回程度開催している。現在の教育課程の実施状況を踏まえながら、教科主任や学年主任等の委員全員で具体的な意見を出し合いながら、より良い教育課程の編成が行えるように工夫している。
34	八幡浜高等学校	教育課程委員会と職員会議で審議後、校長が決裁する。
35	八幡浜工業高等学校	教科主任等を委員とする学習指導委員会を組織し、その中で評価・改善に取り組んでいる。
36	川之石高等学校	教育課程委員会を実施し、協議している。
37	三崎高等学校	教育課程委員会を構成
38	宇和高等学校	各教科主任・学年主任等参加の教育課程研究委員会を年3回実施。
39	野村高等学校	教育課程委員会を年3回開催し、評価・改善を図っている。
40	宇和島東高等学校	・時間割に教科会の時間を設定 ・年間5回の教科指導委員会
40	宇和島東高等学校(津島)	教育課程委員会で審議して校長が決裁する。
41	宇和島水産高等学校	習熟度別講座や3年生の選択科目について、教室割の問題があるため、教務課を中心に検討する必要がある。
42	吉田高等学校	学習指導委員会(教育課程委員会)を年3回実施し、改善点を検討、協議している。
43	北宇和高等学校	様々な方面から教育課程委員会のメンバーを集める
43	北宇和高等学校(三間)	教科指導委員会において、実施状況の評価や改善を図りながら、次年度の教育課程編成を進めている。
44	南宇和高等学校	教育課程委員会を年に3回開き、改善点を検討、協議している。
45	今治東中等教育学校	管理職・運営委員・教科主任で組織する教育課程委員会を学期に一度開催している。
46	松山西中等教育学校	教育課程検討委員会を開催し、改善点について議論している。
47	宇和島南中等教育学校	教育課程委員会を年3回、今年度から教科指導委員会を年2回設けている。
55	愛媛大学附属高等学校	教育課程委員会の委員として、管理職、教務課長、各教科主任が選出され、必要に応じて開催している。
57	FC今治高等学校明徳校	学校全体の教育目標の明確化にし、分掌・部会ごとの役割明確化と連携強化している
58	今治精華高等学校	教務課と各教科主任で構築。
60	済美高校	特になし
61	聖カタリナ学園高等学校	教務課を中心に、各科長・コース主任・教科主任などから意見を集約し、編成にあたっている。
62	松山東雲高等学校	各教科会での検討、報告を受け、教務課から教科主任会、運営委員会、職員会議を踏まえ構築する。
63	松山学院高等学校	教務部を中心に、管理職・各教科主任で行う。
64	新田高等学校	教育課程係会で検討している。
65	愛光高等学校	カリキュラム委員会を設置して、管理職・教務主任・教科主任を中心として議論している。
66	松山聖陵高等学校	各科長やコース主任と連携し、協議をしている。
68	帝京第五高等学校	構築できていない。
69	済美平成中等教育学校	教科主任会、教務課、進路課が連携し、検討している。
70	新田青雲中等教育学校	教務課長と各教科主任とで原案をつくり、委員会を開いて検討を行っている。
1	川之江高等学校(定)	各教科主任の意見を取りまとめて、全員で協議して検討する。
5	新居浜西高等学校(定)	年度末に全教職員で年間の反省と次年度への提言を行い、改善点が見えるようにしている。
9	西条高等学校(定)	職員数が非常に少なく各教科1名の教員も確保できていない状態なので、全職員で教育課程の編成に取り組んでいる。
14	今治西高等学校(定)	教科担任からの要望事項を取りまとめ、全員で協議する。
20	松山東高等学校(通)	教育課程を変える予定はない
21	松山南高等学校(定)	各教科主任の要望を集約したものを教務課内で検討し、原案としたものを職員で協議し検討する。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	年度始めに全体に意見を出してもらい依頼をし、情報を共有できる体制作りをしている。
30	大洲高等学校(肱川)	年度初めに教育課程を提示し、見直しが必要であれば、その都度会議を開く予定である。
34	八幡浜高等学校(定)	少人数の教員なので、全員参加で教育課程委員会を実施し、問題点を検討しながら常に情報共有するようにしている。
40	宇和島東高等学校(定)	教育課程検討委員会を実施し、協議するようにしている。
58	今治精華高等学校(通)	積極的な教員採用を学園に依頼している
67	未来高等学校(通)	教務課で案を作成し、各教科主任の意見をうかがった後、管理職が決裁する。
48	松山盲学校	年2回、教育課程委員会を開き、教育課程について検討している。担任や学科主任等との日々の意見交換を活発にし、教育課程が児童生徒の実態や進路目標に対応するものになっているか、広く意見を交換している。
49	松山聾学校	以下の事項によって編成を行う体制である。 (1)教務課で話し合いを行い、学校教育計画に基づいた編成を行う。 (2)学校評議員による審議結果をもとに編成を行う。 (3)教員による自己評価や子供・保護者による授業評価による結果から編成を行う。 (4)教員間の授業参観をもとに、教科会で話し合われた内容から編成を行う。 (5)教育委員会主催の教育課程研修で得られた内容から編成を行う。

50	しげのぶ特別支援学校	学習グループ単位での話し合いを経て、その代表者が委員会に出席をして協議をする。(10～11月)委員会を経て、各部で確認及び改善案を整理し、1月の教育課程検討委員会で最終調整及び確認を行っている。
51	みなら特別支援学校	新しく学科(キャリアデザイン科)を開設するので、教科主任会、産業科会、教育課程委員会、新校準備委員会において検討するようにしている。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・各学年部→学年主任会→部会→教育課程委員会という流れで毎年検討をしている。 ・教育課程の改善検討時間を十分にとるため、来年度の課題については夏季休業中に検討し、秋には体裁を整えるようにしている。
52	今治特別支援学校	教育課程委員会を開き検討する 自立活動推進委員会を設置し、時間における指導の研究を行う
53	宇和特別支援学校(知的)	各部・各学年等からの意見を取りまとめながら、教務課を中心に、年間3回の教育課程委員会を通じて行っている。
54	新居浜特別支援学校	学年会から部会を経て、教育課程検討委員会で来年度の教育課程を編成する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	小学部、中学部、高等部の教育課程との連続性を重視し、各部の目的や目標が達成できるように、学校全体の協力体制作りに努める。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	年2回、教育課程検討委員会を行い、教育課程の検討を行っている。
56	愛大附属特別支援学校	年度末に教務部で次年度の教育課程の評価を見直している。

(3) 教科等横断型の取組の実施状況、事例、評価の方法

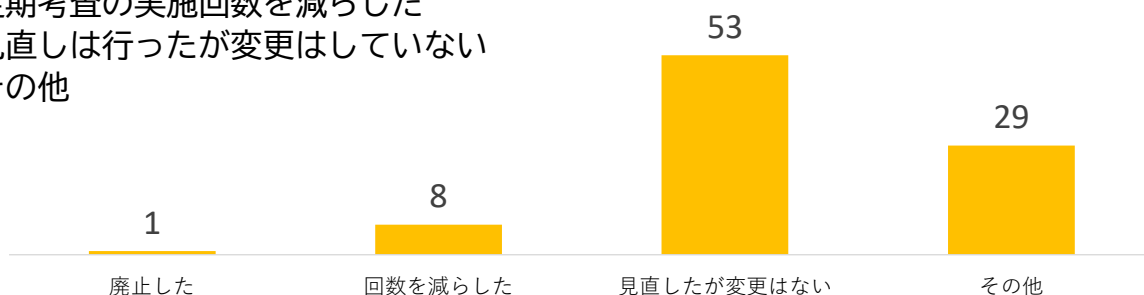
学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	教科横断型の取組はない。
2	三島高等学校	令和4年度から、えひめ版STEAM教育開発事業の実践校として公開授業等を行っている。また、「進学指導研究推進プログラム」の取組の1つとして、地域資源等を活用した探究学習の内容を取り入れた研究授業を行うなどしている。
3	土居高等学校	もち米田植え交流会(農業×家庭)、あかぼし市での活動(農業×商業)、紙のまち探究(学校設定教科科目×他教科)など
4	新居浜東高等学校	昨年度は公民(公共)と英語(コミュニケーション英語Ⅰ)で1時間実施された。今後は新設された健康スポーツ科(3年次)で実施できるよう検討中である。
5	新居浜西高等学校	「先導的授業実践型モデル校」と「NIE教育」の指定を受け、複数の教科を巻き込んだ授業を実践し、効果的な進学指導に結び付けていきたい。
6	新居浜南高等学校	特に実施していない。
7	新居浜工業高等学校	・特記事項なし
8	新居浜商業高等学校	特に実施していない。
9	西条高等学校	「進学指導研究推進プログラム」における公開授業にて実施するほか、校内の研究授業等でも積極的に実践する予定である。
10	西条農業高等学校	・数学Ⅰ三角比 ⇄ 測量 ・理科 ⇄ 農業 ・家庭科 ⇄ 農業 ・授業内でのプロジェクト学習での研究や、専攻班学習を活用した動画・プレゼン作成など
11	小松高等学校	○ビジネス・コミュニケーションの授業「ビジネスと外国語」で英語科(ALT)との連携を予定。 ○理科(物理)の音波の性質と芸術(音楽)の音色、音程についての授業 ○地学の授業で津波の実験と数学の不定積分を取り上げた授業
12	東予高等学校	新校開設に向けて、小松・東予・丹原の3高校でお互いの学校を訪問し、授業に参加する学科等横断型の取組を実施している。数学や物理の授業において、工業科の専門科目の計算問題等の学習内容が共通する部分を事前に指導することにより、生徒の理解がスムーズになるように連携し指導している。
13	丹原高等学校	商業課題研究で農業科の作物を使った商品(食品)の企画・開発を行い、菊花展(一般参加ありの学校行事)で販売した。
14	今治西高等学校	令和6年度において、本校では教科等横断型授業は実施していない。現在、各教科・科目等で研究を行っている。今後、教育課程委員会において議論していきたいと考えている。
14	今治西高等学校(伯方)	公民と家庭で行った。公民の時間に行ったので、評価は公民で行った。
15	立今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	特になし
16	今治北高等学校(大三島)	昨年度、1年生の現代の国語において、単元の内容に関わりのある科目の教員や資格を持つ教員(生物、歴史、防災士)に来てもらって、単元のまとめの時間に話をしてもらった。
17	今治工業高等学校	R6は計画のみで、未実施であった。R7は1学期に工業科を中心に教科横断型の授業を計画している。
18	弓削高等学校	数学の教員が理科の授業に加わり、T2として指導にあたることもあるが、実際に教科横断的な内容を扱う授業は実施できていないため、今後研究を重ねたい。
19	北条高等学校	特になし
20	松山東高等学校	CLIL(内容言語統合型学習)を、1年生は各学期1回実施し英語と他教科の教科横断型授業を実践している。
21	松山南高等学校(砥部)	国語や理科など、それぞれの教科の内容を教員や生徒に尋ねたり、関連があるところは言葉掛けをしたり、リンクさせる工夫をしている。評価はその授業の観点に沿って評価する。
21	松山南高等学校	全教員が年1回以上実施することを目指す。情報×芸術(美術)、理数(理数生物)×地歴(歴史総合) 他
22	松山北高等学校	特にありません。
22	松山北高等学校(中島)	特に実施していない。
23	松山中央高等学校	昨年(令和6年)度に、進学指導研究推進プログラムの一環として、理科と情報、地歴公民と理科で公開授業を実施した。評価方法等については、今後検討が必要である。
24	松山工業高等学校	課題研究などにおける工業科間の連携を中心に、共通科目と専門科目との連携についても実施され始めている。
25	松山商業高等学校	本校では、実施していない。
26	東温高等学校	特記事項なし
27	上浮穴高等学校	特にありません。
28	伊予農業高等学校	実施していない。

29	伊予高等学校	昨年度から教科横断型授業に関するワーキンググループを設置し、研究を行った。今年度からは、教科横断型の校内研究授業を実施する予定。
30	大洲高等学校	特に実施していない。
31	大洲農業高等学校	農業科と普通科の各科目間で、内容を関連付けて指導をしている。例「野菜」「草花」「果樹」と「地理総合」、「食品化学」と「化学基礎」、「農業情報処理」と「情報Ⅰ」など。
32	長浜高等学校	教科間で情報を共有し、授業と連動させる。 【例：数学と情報(2進数)・物理(自由落下)等】
33	内子高等学校	特に無し。
33	内子高等学校(小田)	学校設定教科「探究」の科目である「プロジェクト学習Ⅰ・Ⅱ」や総合的な探究の時間での「小田校版起業家教育プログラム」等を実践しながら、積極的に外部講師を活用し、教科横断的な活動ができるように工夫している。
34	八幡浜高等学校	授業担当者に任せているため、実施状況は把握していない。
35	八幡浜工業高等学校	八幡浜高校、川之石高校、本校の連携による取組に参加している。
36	川之石高等学校	学校設定科目(農業科)で「農業と福祉」を開講し、農福連携を行っている。
37	三崎高等学校	みさこうSTEAM授業の導入
38	宇和高等学校	実施なし。
39	野村高等学校	昨年度から2年生普通科において学校設定科目「アグリデザイン」を開講。理科、家庭、農業、商業の異なる教科を組み合わせた総合的な学習を行っている。レポート課題、小テストにより評価を行っている。
40	宇和島東高等学校	・全教員が年間1回以上実施 ・事前告知による相互授業参観 ・指導案・教材・記録を校内外で共有 ・公開授業等における授業研究会の実施
40	宇和島東高等学校(津島)	全職員が実施して相互授業参観を行う。
41	宇和島水産高等学校	宇和島南中等教育学校との統合を見据えて、昨年度、様々な取り組みを行った。今年度も継続して行う。
42	吉田高等学校	中学生体験入学において、情報と国語が連携した体験授業を行った。
43	北宇和高等学校	総合的な探究の時間の活動で横断型がみられることもあるが、特別な実践はしていない
43	北宇和高等学校(三間)	教科の内容で重なる部分があれば、教員間で共有し、それぞれの授業でつながりを持たせている。
44	南宇和高等学校	特に実施なし。
45	今治東中等教育学校	実施していない。
46	松山西中等教育学校	県内の実施校での授業参観を通して、本校で実践できる科目で連携して取り組んでいる。
47	宇和島南中等教育学校	総合的な探究の時間における課題研究。ライフデザインワークショップ(体育×家庭)を県教育委員会保健体育課と協働で年1回実施。
55	愛媛大学附属高等学校	教科横断型の授業の実施はできていない。行いたいという意見は出るが、いまだに実施できていない状況である。
57	FC今治高等学校明徳校	特記事項無し
58	今治精華高等学校	特に実施できてない。
60	済美高校	総合的な探究の時間に関連する教科の教員が指導にあたるなど
61	聖カタリナ学園高等学校	具体例はありません。
62	松山東雲高等学校	実施していない。
63	松山学院高等学校	行えていない。
64	新田高等学校	実施していない。
65	愛光高等学校	特にありません。
66	松山聖陵高等学校	特になし。
68	帝京第五高等学校	特になし。
69	済美平成中等教育学校	大きな取り組みはないが、例えば「防災」のテーマについて、公共、地理、家庭科等、それぞれの視点で取り組んでいる。
70	新田青雲中等教育学校	いくつかの教科において英語のネイティブスピーカーの教員とチームティーチングで英語以外の科目を英語で学習する部分英語イマージョン教育の時間をとっている。英語以外の教科での教科等横断型への取り組みを計画中である。
1	川之江高等学校(定)	実施していない。
5	新居浜西高等学校(定)	該当ありません。
9	西条高等学校(定)	未実施。今のところ実施予定もない。
14	今治西高等学校(定)	特になし。
20	松山東高等学校(通)	実施していない
21	松山南高等学校(定)	学校設定科目として開設している国際理解(地歴)、環境と人間生活(公民)には、理科の内容と関連する部分があり、その観点を取り入れた内容や評価等を探っている。また、理科の自然と環境においても、地歴や家庭科の観点から改善策を模索している。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	実施していない。
30	大洲高等学校(肱川)	生徒・教員ともに人数が少なく、教科横断的な取り組みはできていない。
34	八幡浜高等学校(定)	少人数のため十分に実施できていない。
40	宇和島東高等学校(定)	令和6年度は、多くの教員が教科等横断型の授業を実施した。例えば、国語と地理歴史、家庭の教科横断型授業では、平安時代の風習を学び、当時のお菓子を作る調理実習を行った。
58	今治精華高等学校(通)	特になし
67	未来高等学校(通)	特になし。

48	松山盲学校	小学部算数『折れ線グラフと表』に表されている外国の都市について、社会科で地球儀を見て位置の確認をした。日本と同じくらいの経度にある都市の位置を理解した。 中学部国語『モアイは語る―地球の未来』(国語2 光村教育図書)において、本文に書かれている「ボーリング調査によって、当時の環境や人々の営みが解明できる」という内容と理科で学習する地層の学習を紐づけて学習した。また、中学部音楽『椰子の実』(中学生の音楽 2・3下 教育芸術社)において、国語科教員が文語を現代語訳し、解説した。意味を正しく理解することで、鑑賞だけでなく、歌唱にも深みを増した。 消費者教育においては、公民科と家庭科で情報共有を行い、それぞれの教科の特性を生かして学習内容を検討することを心掛けている。国際理解教育においては、地歴・公民科と外国語科との間で連携した学習を行った。
49	松山聾学校	運動会、文化祭、総合的な学習の時間、総合的な探求の時間、進路課主導の行事(キャリアアップセミナーなど)で学部・学年・教科をまたいだ授業を行っている。
50	しげのぶ特別支援学校	本校は特別支援学校であるため、各教科等を合わせた指導という指導形態で実施することが多いが、教科別の指導の中でも、学習活動の中で取り扱う教科や関連する教科の内容を明確にするために、年間指導計画や個別の指導計画(通知表)の目標に記載している。また、各教科の到達度を個々の児童生徒について記録し、評価や目標につなげている。
51	みなら特別支援学校	産業科において、各教科と情報の授業を教科横断的に取り組むことで、実生活に生かせる学習を行っている。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・知的障がい特別支援学校においては、「指導の形態別過当たり授業時間数」を合わせて申請している。その中には、「各教科等を合わせた指導」という項目があり、国語、社会、数学、理科、美術、職業・家庭等について、生活年齢に応じながら、教科横断的に学習している。各教科を合わせて指導する際には、各教科のどんな目標や学習内容を取り上げているのかを明記し、評価する際には、各教科に戻って評価することとなっている。 ・中学部では、生活単元学習や総合的な学習の時間において、9教科の内容や目標が含まれており指導の実績がある。評価について、前年度生活単元学習については、通知表について、左に記載する内容を「学習内容及びねらい」とし、年間指導計画にある9教科の中からどの内容を選んだのかを明記した。9教科の評価規準も明記されているので、これまでよりは、観点が分かりやすい評価が行われていると思われる。
52	今治特別支援学校	合わせた指導を行っている
53	宇和特別支援学校(知的)	各教科等を合わせた指導を行っている。(各教科、道徳科、特別活動及び自立活動等を合わせて指導)
54	新居浜特別支援学校	国語や算数(数学)、音楽、体育(保健体育)、家庭など、各教科で学んだ内容を、運動会、文化祭、外部団体等との交流活動や校内実習など、様々な行事の事前準備を含む活動全体で生かせるように取り組んでいる。
54	新居浜特別支援学校(川西)	普段の授業で実践できている教科等横断的な学習であるが、今年度は教員の理解に深め、共通理解を図るための資料を作成し、具体的な授業実践の事例や、評価について全教職員に知らせる予定である。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	各教科等を合わせた指導を行っている。
56	愛大附属特別支援学校	単元配列表を作成し、各教科における学習内容や学習方法のつながりを可視化した。

3 学習評価の在り方の検討に伴う、定期考査の実施の見直しについて

- ア 定期考査を廃止した
 イ 定期考査の実施回数を減らした
 ウ 見直しは行ったが変更はしていない
 エ その他



ア 定期考査を廃止	エ その他		
新田高等学校	川之江高等学校	伊予高等学校	未来高等学校(通)
イ 定期考査の回数を減らした	土居高等学校	内子高等学校	しげのぶ特別支援学校
三島高等学校	新居浜南高等学校	宇和島東高等学校	みなら特別支援学校
丹原高等学校	新居浜工業高等学校	南宇和高等学校	みなら特別支援学校(松山城北)
弓削高等学校	西条農業高等学校	愛光高等学校	今治特別支援学校
松山南高等学校(砥部)	小松高等学校	済美平成中等教育学校	宇和特別支援学校(知的)
三崎高等学校	今治西高等学校	新田青雲中等教育学校	新居浜特別支援学校(川西)
大洲高等学校(肱川)	今治工業高等学校	松山南高等学校(定)	新居浜特別支援学校(みしま)
松山聾学校	松山中央高等学校	松山商業高校(定)	愛大附属特別支援学校
新居浜特別支援学校	東温高等学校	松山東高等学校(通)	
ウ 見直しは行ったが変更はしていない			
新居浜東高等学校	松山工業高等学校	宇和島水産高等学校	松山聖陵高等学校
新居浜西高等学校	松山商業高等学校	吉田高等学校	帝京第五高等学校
新居浜商業高等学校	上浮穴高等学校	北宇和高等学校	川之江高等学校(定)
西条高等学校	伊予農業高等学校	北宇和高等学校(三間)	新居浜西高等学校(定)
東予高等学校	大洲高等学校	今治東中等教育学校	西条高等学校(定)
今治西高等学校(伯方)	大洲農業高等学校	松山西中等教育学校	今治西高等学校(定)
立今治南高等学校	長浜高等学校	宇和島南中等教育学校	松山工業高等学校(定)
今治北高等学校	内子高等学校(小田)	愛媛大学附属高等学校	八幡浜高等学校(定)
今治北高等学校(大三島)	八幡浜高等学校	FC今治高等学校明徳校	宇和島東高等学校(定)
北条高等学校	八幡浜工業高等学校	今治精華高等学校	今治精華高等学校(通)
松山東高等学校	川之石高等学校	済美高等学校	松山盲学校
松山南高等学校	宇和高等学校	聖カタリナ学園高等学校	
松山北高等学校	野村高等学校	松山東雲高等学校	
松山北高等学校(中島)	宇和島東高等学校(津島)	松山学院高等学校	

4 ICTの活用について

(1) 生徒の深い学びにつながる1人1台端末の活用事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	創作ソフトを使った音楽制作の授業、風景画用の写真撮影、点やグラフの平行移動考察、音読録音課題の提出、調べ学習やアンケート調査
2	三島高等学校	teamsとロイロノートを活用している。
3	土居高等学校	今年度1年生より、スタディサブリを使つての学習が始まる。生徒一人ひとりの習熟度に応じて動画を見て、自分に合った課題に取り組めるようになった。
4	新居浜東高等学校	ロイロノート、Classi、Teamsを場面に応じて活用している。
5	新居浜西高等学校	自分の意見や課題のノートをロイロノートで共有するなど、場面に依りて活用できている。HR活動や探究活動においてもロイロノートの活用で共同作業が効率良くできている。
6	新居浜南高等学校	WEBでの調べ学習。授業等のレポート提出及び返却。 体験学習発表会や課題研究発表時の資料作成。各教科任意の課題配信及び評価の通知。
7	新居浜工業高等学校	・デジタル教材の利用に加え、情報モラル教育や、学校を知るための探究学習、端末を使用したレポート(報告書)作成及び提出、端末を活用したものづくり、調べ学習、課題研究報告書の提出(Forms)、端末を活用した制御実習などに活用している。
8	新居浜商業高等学校	ロイロノート等のアプリを利用し、各科目の授業や課題提出などで活用したり、意見の共有や発表資料の作成に応用したりしている。
9	西条高等学校	特に、SSHの課題研究において積極的に活用しており、情報収集・プレゼンテーション作成・論文作成等に活用している。
10	西条農業高等学校	・写真撮影やデータ収集、調べ学習やDeep Research等を活用したまとめ学習 ・匿名で回答を集められるので、意見を集約しやすい。 ・オンラインホワイトボードアプリケーション「miro」を活用し、ネット環境があればどこでもタブレットで授業内容を確認できる授業づくり。 ・音楽では、カトカトーンを用いて創作を行っており、生徒の学びにより影響を与えている。 ・家庭科の調理実習では、生徒が各自のタブレットで調理手順を動画で撮影し、振り返り学習に活用しています。特に包丁の持ち方や切り方など技術面での自己評価が可能になり、技能向上につながっています。 ・英語の授業で、例えば行ってみたい場所などを検索しながら英作文し、パワーポイントを作るなど、意欲を引き出せる。 ・植物の成長記録 ・総合的な探究の時間でGoogleサイトを作成 ・農業のプロジェクト発表でプレゼン作成
11	小松高等学校	総合的な探究の時間や課題研究での調査・研究。PowerPointでのプレゼン発表。
12	東予高等学校	「ロイロノート」を活用し、事前に送付した課題を提出させ授業に教材として利用している。また、教室にWiFi環境と電子黒板が整備されたので、インターネットに接続し解説動画を見せるなどして学習内容の理解を深めている。
13	丹原高等学校	特になし
14	今治西高等学校	出席停止になった生徒に対して、希望する生徒には、授業の配信等についても学校全体で取り組んだ。ロイロノートやTeams、Classi等を活用して、各教科とも課題の配信や提出を行っている。
14	今治西高等学校(伯方)	スタディサブリの実施
15	立今治南高等学校	ロイロノートによる①課題の配布と回収、②HR活動における意見集約、③アンケート集計、④欠席生徒への連絡、⑤安否確認。オフィス365による①保護者からの出欠連絡、②課題の配布と回収、③考査範囲の発表、④レポート作成と提出。
16	今治北高等学校	動画の視聴、生徒の協働作業(課題研究など)、宿題等の提出、調べ学習、自学自習
16	今治北高等学校(大三島)	数学では関数ソフト「GRAPES Light」をTeamsで生徒と共有して授業を行った。視覚を通して2次関数を理解することに役立った。
17	今治工業高等学校	スタディサブリを用いた到達度テスト、連動課題配信、朝学習での活用をR6から実施している。各授業では、調べ学習や課題等の情報共有にも活用している。
18	弓削高等学校	一人1台端末を活用して課題について調べ、レポートにまとめたりプレゼンテーションを作成して発表したりしている。
19	北条高等学校	総合研究(3年次の総合的な探究の時間)で利用している。
20	松山東高等学校	Teamsによる課題配布、ロイロノートによる意見集約、Teamsを利用した他校との合同授業
21	松山南高等学校	ロイロノート等を介した個人添削。
21	松山南高等学校(砥部)	小論文の作成、提出で使用した。 気がついたことを紙媒体でまとめた上で、formsなどで回答させることで学びが整理される。 学習内容を、写真などを加えたプレゼンテーション資料として提出させ共有させる。 視覚資料、特にカラーで示したい場合は紙媒体とともにデジタル媒体でも配布している。

22	松山北高等学校	授業において、ロイロノートでの意見交換、Teamsを用いてのファイル共有等で活用しています。また、Classiのポートフォリオへの活動内容の記録や感想等の入力で進路実現に向けて活用しています。
22	松山北高等学校(中島)	授業でTeamsやスタディサブリを活用する。 360°カメラで校内を撮影し、校内VRツアーのリンクを掲載する。 県総合教育センターからの遠隔授業(数学C)
23	松山中央高等学校	資料配付や課題の配付・提出、小テストの実施などで活用している教科がある。また、ホームルーム活動の展開において、ロイロノートの活用により授業の活性化につながった場面もある。
24	松山工業高等学校	グループ学習におけるまとめの共同編集や、生徒によるテーマに沿った動画編集等において、特に効果が上がっている。教材の共有、課題の回収、アンケート回収の集計などで、教員の業務改善につながっている。
25	松山商業高等学校	スライドを使った発表、小テスト、ポスター作成
26	東温高等学校	特記事項なし
27	上浮穴高等学校	Teamsによる課題配布・提出、板書データなどの配信。
28	伊予農業高等学校	調べ学習、ロイロノート等での情報(考え)の共有。
29	伊予高等学校	今年度から、探究活動の記録や振り返りを入力すれば生成AIがフィードバックするアプリ開発を株式会社アイサイトと連携して実施しているところである。アプリ開発後に、その活用方法について研究を進めていく。
30	大洲高等学校	一人1台端末の活用、授業時のデジタル教科書の活用等、各教科で有効な活用法を研究・実践している。
31	大洲農業高等学校	各科目でロイロノートを活用している。国語表現や課題研究等でプレゼンテーションソフトを用いた発表や調べ学習を行っている。
32	長浜高等学校	電子黒板、教材提示、インターネット検索、写真・動画撮影・編集、アンケート・小テスト、プレゼンテーション制作、意見交換 等
33	内子高等学校(小田)	生徒のタブレットで、電子データにより意見集約を行って、テーマに関する他者の考えを確認する取組を行った。
33	内子高等学校	静止画などを調べさせると、サムネイルがたくさん出てくるので、教員が準備したものよりも多くの情報を得ることができて、深い学びにつながる場面もある。
34	八幡浜高等学校	生徒のグループ内での意見の共有
35	八幡浜工業高等学校	・生徒の意見の集約と発表。 ・Teamsによる課題の配布と提出。 ・体育において、運動の様子を撮影し、解析に活用。
36	川之石高等学校	teams(ClassNotebook等)の活用
37	三崎高等学校	個人の意見を投稿し、全体に共有することで学びの深化を図る
38	宇和高等学校	課題の出題、回収、オンライン海外交流、課題研究での活用。
39	野村高等学校	調べ学習、プレゼンテーションの作成、レポート作成
40	宇和島東高等学校	・海外・校外の生徒との交流・共同学習 ・海外・校外の有識者による講義の聴講 ・ディベート、ディスカッション等の言語活動への自宅からの参加 ・臨時休業中のオンライン授業 ・ELISの活用による自己調整学習 ・成果物に対する、チームによる評価
40	宇和島東高等学校(津島)	探究の時間でスライドを作成する際に写真の共有ができること。
41	宇和島水産高等学校	課題研究のプレゼンテーションを、端末を使って行っている。
42	吉田高等学校	・Teamsでは、連絡事項(時間割や準備物)及び配布物等の配信やファイルの共有 ・パワーポイントを活用した、資料の作成及び発表
43	北宇和高等学校	教員と生徒双方向からの課題等の提出や指導
43	北宇和高等学校(三間)	発表資料作りや課題の提出などで活用している。
44	南宇和高等学校	Teamsを利用した課題配信や回収、生徒間のファイル共有、調べ学習やプレゼンテーション等を行っている。
45	今治東中等教育学校	Teamsを活用したプレゼン作り、Zoomを用いた地域の人々との交流、ロイロノートで課題配信・添削指導など。
46	松山西中等教育学校	グループ活動で集約した意見を全体で共有したり、各科目の課題を端末から提出させたりしている。
47	宇和島南中等教育学校	デジタル教科書(前期英語)の活用。課題研究にける調べ学習及びレポートの作成で活用。
55	愛媛大学附属高等学校	課題の指示や、提出を行っている。生徒へのアンケートの実施の際に使用している。課題研究で、全校生徒へのアンケートを実施する際に使用している。
57	FC今治高等学校明徳校	ビジュアルコラボレーションツールを使用し、様々な情報の収集、整理、共有している。
58	今治精華高等学校	端末が1人1台準備されていない。
60	済美高等学校	授業内で全員から発表内容を集め、他の人と比べることで考えを深めることができる
61	聖カタリナ学園高等学校	R7年度入学生から1人1台端末となった。ロイロノートを中心に、授業でICT活用を進めている。また、スタディサブリを新入生から導入し、学びなおしに活用している。通信簿や連絡プリントなど紙媒体は減らしていく予定。
62	松山東雲高等学校	リクルート社のスタディサブリ、スタサプイングリッシュの導入
63	松山学院高等学校	調べ学習、発表資料の作成を各自、グループで行っている。また、各自の学習状況に応じて、スタディサブリを行うようにしている。
64	新田高等学校	課題配信、小テスト、総合的な探究の時間における調べ学習、スタディサブリやオンライン英会話等のアプリを利用している。

65	愛光高等学校	共同編集(協働的)、双方向(対話的)などの学びに活用している。
66	松山聖陵高等学校	ロイロノートを用いた意見の共有や資料配布。 調べ学習や教科書のQRコードの利用。
68	帝京第五高等学校	特になし。
69	済美平成中等教育学校	課題の配信、デジタル上で共同作業(共有ノート) 小テストなど基礎基本の定着、学習成果を発表するプレゼンテーション
70	新田青雲中等教育学校	各自の端末で資料を作り、プレゼンテーションを行っている。また、問いかけに対する答えを、生徒全員が一人ひとり担当教員に返答することで、短時間で多くの情報を処理できるとともに、その情報を共有することができる。
1	川之江高等学校(定)	調べ学習やデータの共有、端末を使用した課題とその提出
5	新居浜西高等学校(定)	教科によっては端末での課題提出等に利用している。
9	西条高等学校(定)	特にはない
14	今治西高等学校(定)	スライドによる授業展開や課題等の提示及び提供、実験・観察結果を共有する。
20	松山東高等学校(通)	1人1台端末はない
21	松山南高等学校(定)	総合的な探究の時間において、生徒自らが設定した課題について、情報収集やデータの分析を行い、発表資料を作成した。
24	松山工業高等学校(定)	資料の提示、課題の配付、回収
25	松山商業高校(定)	授業板書の共有をしている。
30	大洲高等学校(肱川)	研究中である。
34	八幡浜高等学校(定)	興味のある内容に関して、自主的かつ発展的な調べ学習につなげていく。
40	宇和島東高等学校(定)	実技を伴う科目では、教員の手本を動画で撮影し編集したものを、生徒が1人1台端末を見ながら作業をするという取組を行った。
58	今治精華高等学校(通)	特になし
67	未来高等学校(通)	生徒が在宅のまま教員にできる環境を作り、報告課題の作成に生かしている。
48	松山盲学校	テキストデータや点字データ、音声データなど、生徒の障がいの状態に応じた形式の教材を配付し、パソコンやタブレット端末、プレクストーク(ディジー再生機器)、ブレイルメモ(点字ディスプレイ)などの機器を活用して学習している。見えにくさを補うために、生徒が眼前で確認できるディスプレイを設置して活用している。
49	松山聾学校	小学部では協働学習に「ロイロノート」アプリ、中学部・高等部では、Microsoft 365のTeams上にWord、Excel、PowerPointなどのデータを共有できる状態で保存している。
50	しげのぶ特別支援学校	・外国のことや伝統文化についての調べ学習におけるインターネット活用、成果報告でのプレゼンテーションアプリ活用。 ・国語の作文などで、書く活動に時間が掛かる生徒が使用している。(書き直しやすさなどの点でも取り組みやすさにつながっている。) ・バーチャルピアノ(オンライン上のピアノ)を使ったメロディづくり。(指で操作しやすい、視覚的に分かりやすい。) ・調べ学習でGoogleスライドを活用し、友達と共同学習を行っている。調べる分野を話し合っ分けてたり、分からないところを教え合ったりしている。 ・総学(総探)や学活・ホームルームなどにおけるプレゼン資料の作成、動画編集等。 ・Googleクラスルームを用いた課題の配付。 ※令和7年度からはGoogleのサービスからMicrosoftのサービス利用へ変更している。
51	みなら特別支援学校	調べ学習の内容を簡潔にまとめ、自分でプレゼンテーションソフトを使ってクラスメイトに分かりやすく発表した。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・タブレット端末でロイロノートを使用し、植物の成長の写真を撮って観察記録にまとめたり、まとめたものを教師に提出したりしている。撮った写真を時系列に並べることで、植物の成長の様子を振り返ったり、みんなの前で発表したりしている。その他にも、提出された課題について生徒が自らまとめ、発表している。 ・視覚的支援の補助具として活用することで、児童生徒の意欲を引き出している。
52	今治特別支援学校	スケジュールの作成 スケジュールや学習活動の画像、動画の提示 ズームでの合同授業 クラスルームでの課題配布や提示 ジャムボードでのお絵描き遊び プログラミング学習 発語のない生徒のコミュニケーション アプリを活用した学習活動
53	宇和特別支援学校(知的)	調べ学習、ロイロノートでの発表や意見交換等を行っている。
54	新居浜特別支援学校	アプリを使って自分の意思を伝えたり、活動の準備を自分で行ったりする。
54	新居浜特別支援学校(川西)	コミュニケーションツールとして活用し、他者との関りを深めている。コミュニケーション能力や問題解決能力が高まることを期待している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	ロイロノートの活用して、クイズを作成してクラスで楽しく競い合いながら学習を実施したり、共有ノートの機能を使って、卒業文集を話し合いながら作成したりした。また、音楽の鑑賞で、それぞれ入力した感想を提出し、意見交換をした。国語や生活単元学習の授業では平仮名のなぞり書き練習を行ったりした。やり直しがすぐできるので、消しゴムが苦手な児童生徒にとって効果的であった。
56	愛大附属特別支援学校	ロイロノートで目標設定や振り返りを行っている。写真や文字等一人一人に応じたカードを作成している。

(2) 1人1台端末を活用することで、業務の改善につながっている好事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	「Forms」を利用したアンケート(学習時間調査含む)の実施、「ロイロノート」を利用した課題の提出・確認・返却、解答例のデータ配信、志望理由や自己PRなどの添削
2	三島高等学校	生徒への配布物の迅速化と、課題提出の方法を複数用意できる点、および、各種小テストやアンケートの集計・フィードバックに効果的である。
3	土居高等学校	授業アンケートなど効率的にアンケートを取ることができる。
4	新居浜東高等学校	3年生の進路指導において、志望理由書や小論文の添削指導の場面で、時間の効率化につながった。
5	新居浜西高等学校	アンケートや学習の学習の自己評価をFormsで回答させることで、集計の負担を軽減できている。
6	新居浜南高等学校	アルバイト許可生徒の実施状況入力及び教員間の情報共有。 生徒への伝達資料のデジタル化とその配信(南高通信の配信、資格検定試験、奨学金制度の案内など)による連絡の簡略化と用紙削減。
7	新居浜工業高等学校	・これまで紙媒体で行っていた授業評価アンケートや学校評価アンケートなどの各種調査の回答をFormsで行うことにより、ペーパーレス化を図ることができた上に、集計作業にかかる労力と時間が大幅に減少した。
8	新居浜商業高等学校	生徒への授業連絡や、行事の確認など、ホームルームでの連絡事項を随時送信している。
9	西条高等学校	アンケートの集計が簡略化され、業務の負担軽減につながっている。
10	西条農業高等学校	・デジタルデータの提出をさせることで、確認が容易で、評価がしやすい。紙媒体の保管場所も不要になった。 ・アンケートを簡単に集計できる。家からでも提出できる。 ・教科書中心の授業だけでは身につかないような自主性が身につく。 ・作品提示など行うことができる。 ・Teams等での連絡やプリント等の配布が可能になっている。 ・一人一人の学習状況に応じた指導ができた ・小テストをFormsで行っている、採点の時間が省ける ・教員の教科用のGoodnoteを生徒へ共有することで、家での復習、休んでいる生徒の対応ができています。
11	小松高等学校	紙媒体での課題配布が必要なくなり、データでの課題の回収、点検、評価がしやすい。
12	東予高等学校	現状では、1人1台端末の活用により学習支援が円滑に行えるようになったが、業務改善にはつながっていない。
13	丹原高等学校	特になし
14	今治西高等学校	対外模試や大学入学共通テストの自己採点や学習時間調査等の各種アンケート等を、1人1台端末を利用して行っている。集計が短時間でできるので業務の改善につながっていると考えている。また、時間割、月間の行事予定、諸会費口座振替等の文書等の配信を行うことによって、ペーパーレス化につながっている。
14	今治西高等学校(伯方)	アンケートを紙での解答から端末での入力に切り替えた。
15	立今治南高等学校	主にアンケート集計
16	今治北高等学校	各種調査の集計処理、印刷物の削減、連絡・授業変更などの提示
16	今治北高等学校(大三島)	授業振り返りシートや授業アンケートをFormsで行い集計することで、負担が軽減された。
17	今治工業高等学校	プリント等の配布物を減らすことができた。
18	弓削高等学校	Teamsを用いて、時間割の配布やホームルーム担任からの連絡を容易に行うことができています。
19	北条高等学校	アンケート
20	松山東高等学校	Teamsによる連絡事項伝達(日々の行事や時間割変更など)。生徒会による積極的な活用。
21	松山南高等学校	板書の省力化。課題の回収、評価、返却の省力化。
21	松山南高等学校(砥部)	生徒の課題等を保管しやすい。 科目を数年受け持ったり、他の教員と共有と改善を協働できれば理想的だと思う。
22	松山北高等学校	生徒への一斉連絡、アンケート機能、生徒からの質問に対する回答、3年生の進路指導(志望理由書、小論文の添削等)等で業務改善しています。
22	松山北高等学校(中島)	長期休業中の手引き等の全体連絡をTeamsで配布し、印刷のコストや手間を削減できた。
23	松山中央高等学校	印刷や課題の確認などの負担が軽減した。
24	松山工業高等学校	活用できていない。
25	松山商業高等学校	formsによるアンケート、時間割等配信
26	東温高等学校	アンケート集計処理の簡便化
27	上浮穴高等学校	Formsでアンケートを実施することにより、集計・分析の効率化につながった。
28	伊予農業高等学校	調べ学習をさせやすい。情報共有をしやすい。欠席生徒にも、授業内容を知らせることができる。課題を提出させやすい。
29	伊予高等学校	SHRにおける連絡事項の時間短縮、解説や解答等のペーパーレス化、双方型授業の研究。
30	大洲高等学校	アンケートの集計、分析等

31	大洲農業高等学校	アンケートの集計や調べ学習での利用、小論文・履歴書等の添削指導。
32	長浜高等学校	時間割等の連絡事項の徹底、教材提示・課題配信の効率化、アンケートの実施 等
33	内子高等学校(小田)	フォームズによりアンケート調査を実施したり、行事に参加した生徒の感想文の提出や、授業実施内容の自己評価の集計などに活用することで、担当教員が確認しやすいようにしている。
33	内子高等学校	3年生が志望理由書を作成する際、電子データでやりとりが可能となり、紙媒体の指導よりも効率が上がった。
34	八幡浜高等学校	特になし
35	八幡浜工業高等学校	生徒の意見の集約と発表
36	川之石高等学校	アンケートの調査・集計
37	三崎高等学校	Formsによるアンケート集計
38	宇和高等学校	紙媒体の減少。
39	野村高等学校	アンケート集計
40	宇和島東高等学校	・採点業務の時間短縮 ・チームによる採点 ・チームでの採点を通じた指導観の共有 ・教務課業務の効率化による、他の校務文章課との連携の円滑化 ・緊急連絡の効率化
40	宇和島東高等学校(津島)	Teamsを利用し課題の配信や改修を行っている。
41	宇和島水産高等学校	学校評価アンケートを、forms上で行っている。
42	吉田高等学校	・保護者・生徒への配布プリントの削減 ・各種アンケート集計の効率化 ・職員朝礼連絡票、職員会議資料等のペーパーレス化
43	北宇和高等学校	アンケート集計
43	北宇和高等学校(三間)	生徒会誌の原稿の提出・校正作業の集約ができた。
44	南宇和高等学校	Formsによるアンケートの実施。
45	今治東中等教育学校	健康観察入力・出欠連絡・授業評価アンケートをTeamsで実施しており、担当者の業務改善につながっている。
46	松山西中等教育学校	学習時間調査やアンケートなどの各種調査の解答に利用し、集計の負担が軽減されている。
47	宇和島南中等教育学校	アンケート等の集計作業
55	愛媛大学附属高等学校	全校生徒へのアンケートを実施する際に、アンケート用紙の準備が不要となり、集計の業務がなくなった。
57	FC今治高等学校明徳校	特記事項無し
58	今治精華高等学校	特になし。
60	済美高等学校	特になし
61	聖カタリナ学園高等学校	課題の提出、集約が簡単である。紙媒体での印刷が減った。連絡などが随時できるため、連絡漏れを防ぐことができる(欠席者にも)。
62	松山東雲高等学校	特になし。
63	松山学院高等学校	出欠の管理、アンケート機能を利用して、回答の集計・分析をすぐに行えるようにしている。
64	新田高等学校	これまで紙に印刷していたものが大幅に削減された。課題配信により、印刷にかかる時間と手間が削減された。生徒各自が調べ学習を行うにあたって学習しやすくなり、プレゼン等の発表ができるようになったため、準備にかかる時間が減少した。各家庭や生徒への連絡ができるようになったため、確実に手間なく連絡できるようになった。
65	愛光高等学校	オンラインの連絡掲示板を使っているので、朝礼が短縮された。
66	松山聖陵高等学校	アンケートの配布・集計や資料提示がしやすい。 ペーパーレス化。
68	帝京第五高等学校	・提出物をデジタル化できた ・アプリでクラスに連絡できるため印刷物が減少した
69	済美平成中等教育学校	課題の回収について効率化が図られ、蓄積もでき、評価がしやすくなった。またペーパーレス化も進んでいる。
70	新田青雲中等教育学校	教員のスキルは必要であるが、アンケートなど調査から集計までが紙媒体の時代に比べると格段に楽に早く行うことができる。ペーパーレスを進めていくことができる。
1	川之江高等学校(定)	生徒アンケートの集計や生徒の課題提出確認、情報の提供など(主としてteams)
5	新居浜西高等学校(定)	校内生徒生活体験発表や文集を個々が入力することにより、教員側で手入力することがほとんどなくなった。
9	西条高等学校(定)	特にはない
14	今治西高等学校(定)	・ペーパーレス化につながった。 ・教材の配布や回収が効率よくできた。
20	松山東高等学校(通)	1人1台端末はない
21	松山南高等学校(定)	情報室が全日制と共同であるため、使用できない場合があるが、発表用のプレゼンテーション資料やポスターなどを、場所を選ばずに作成することができるようになった。
24	松山工業高等学校(定)	ペーパーレス
25	松山商業高校(定)	なし
30	大洲高等学校(肱川)	長期休業中の課題、生徒体験発表作文や授業アンケート(forms)に利用している。
34	八幡浜高等学校(定)	生徒会誌の原稿作成など、編集担当者の業務軽減につながっている。
40	宇和島東高等学校(定)	生徒が回答したアンケートの集計において、作業時間を短縮することができている。

58	今治精華高等学校(通)	特になし
67	未来高等学校(通)	各種アンケートの作成や集計について効率化できている。
48	松山盲学校	Teamsで課題を配付したり、動画を共有したりすることで、多様な学習が計画できるようになった。しかし、視覚に障がいがある生徒には、点字の資料が必要なことは変わりなく、業務改善に直結するとは、言い難い状況である。
49	松山聾学校	児童生徒同様に、Microsoft365のTeams上にWord、Excel、PowerPointなどのデータを共有できる状態で保存し、データを複数の職員で共同作業している。また、児童生徒とも連絡を円滑に行い、映像や文字データを効率よく共有している。
50	しげのぶ特別支援学校	- デジタル教科書やデジタル教材を活用することで教材準備の負担軽減につながっている部分がある。 - 教師とデータを共有させておくことで進捗状況を把握しやすかったり、リアルタイムでのやり取りができた。 - iPadで教材を配付することで、プリントの印刷等の業務が減少した。 - 校内の生徒対象にマイクロソフトのformsでアンケートを実施した。集計、分析に係る時間が短縮された。
51	みなら特別支援学校	業務の改善といえるほどの好事例はありません。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	- 活動内容をロイロノートでまとめて提示することで、生徒が分かりやすい。 - ロイロノートで作成した教材を学部内で共有している。
52	今治特別支援学校	教材作りの時間短縮 教材の提示がしやすく、有効
53	宇和特別支援学校(知的)	紙媒体を使用しなくても、情報の共有や収集ができやすくなった。
54	新居浜特別支援学校	- 学習活動アンケートの実施と集計 - 写真教材等をカラー印刷して使用していたものが、画像として使用でき、一斉に伝えることができる。
54	新居浜特別支援学校(川西)	個人の実態や学びに合った視覚的教材の作成や提供が、素早く行えるようになった。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	ロイロノートの資料箱にある、これまでに作成した教材データを参考にしながら教材準備をしている。印刷しなくてよいものが増え、業務改善につながっている。
56	愛大附属特別支援学校	メッセージングアプリを活用し、職朝、終礼を廃止した。 クラウドによる情報共有

(3) CBTシステム（EILS等）の活用状況

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	学年一斉での使用では通信状況が不安定になる恐れがあり、また事前準備の方法が手間であると感じる教員がほとんどであり、十分活用されていない。
2	三島高等学校	共通テストに対応した問題や基礎学力向上のための問題を作成し、EILSのコンテンツバンクに投稿する。
3	土居高等学校	現在研究中
4	新居浜東高等学校	採点したテストをEILSにて返却した。
5	新居浜西高等学校	授業の最初に前時の復習テストを実施。 自動採点システム「百問繚乱」で採点したテストをEILSにて返却している。
6	新居浜南高等学校	本校は活用していない。
7	新居浜工業高等学校	・電気科の活用事例 定期考査や電気工事士の資格試験対策問題を行う際に活用している。解答の形式が選択問題である上に、写真を使った問題を解答させる際に特にメリットを感じる。
8	新居浜商業高等学校	定期考査で考査実施科目の多くで活用している。
9	西条高等学校	情報科の小テストにおいて、定期的に活用している。
10	西条農業高等学校	・単元別テスト、小テストで活用する。 ・百問繚乱でテスト返却
11	小松高等学校	複数回活用している教員もいるが、活用できていない教員も多い。
12	東予高等学校	現状では活用をしていない。
13	丹原高等学校	利用はしているが、特記事項なし
14	今治西高等学校	各教科・各科目で各種のアプリを活用している。しかし、EILSの活用については、各教科とも活用方法の研究が進んでいないのが現状である。
14	今治西高等学校(伯方)	なし
15	立今治南高等学校	一部の教科で小テストに活用されている。
16	今治北高等学校	小テストの実施
16	今治北高等学校(大三島)	教員によってまちまちである。
17	今治工業高等学校	スタディサプリの到達度テスト(年3回)は、全校生徒がCBTで実施した。R7も、同回数実施の予定である。
18	弓削高等学校	昨年度は一部の教員がEILS-PBTを活用したテストの採点を行った。
19	北条高等学校	特になし。中学校のコンテンツバンクを活用できるようにして欲しい。
20	松山東高等学校	ロイロノートを使ったクイズやEILSによる数学小テストの実施。
21	松山南高等学校	教科・科目による差はあるが、小テスト等の実施。
21	松山南高等学校(砥部)	あまり活用できていない。
22	松山北高等学校	積極的な活用はできていない状況です。
22	松山北高等学校(中島)	ほとんど活用できていない。 今後有効な科目で使用していきたい。
23	松山中央高等学校	小テストの実施に活用している教科がある。
24	松山工業高等学校	多くの教員が昨年度から利用を開始し、業務効率化の面で好評である。
25	松山商業高等学校	活用していない。
26	東温高等学校	活用していない
27	上浮穴高等学校	活用できていない。
28	伊予農業高等学校	一部の教科で、課題や小テストに活用している。
29	伊予高等学校	EILS-PBTでのデジタル採点後、概ねEILS-CBTでデジタル返却している。
30	大洲高等学校	各教科で使用法を研究・活用している。
31	大洲農業高等学校	積極的な活用はできていないが、今後活用を促していく。
32	長浜高等学校	各教科で研究・試行中
33	内子高等学校(小田)	校内で研修等は行っているが、教員全体での活用には至っていない。
33	内子高等学校	活用について検討中
34	八幡浜高等学校	デジタル採点システムによる採点結果の通知
35	八幡浜工業高等学校	特になし。
36	川之石高等学校	小テスト等の実施(一部の教科)
37	三崎高等学校	今後活用予定
38	宇和高等学校	小テスト等。
39	野村高等学校	各教科で検討中
40	宇和島東高等学校	・全教職員、生徒が活用している。
40	宇和島東高等学校(津島)	小テストの実施。
41	宇和島水産高等学校	なし
42	吉田高等学校	・EILS(百問繚乱)の採点答案の返却
43	北宇和高等学校	教科によっては利用している場合もあるようだ
43	北宇和高等学校(三間)	教科により使用例はあるが、回数は少ない。
44	南宇和高等学校	各教科で検討中。
45	今治東中等教育学校	今後とも継続して利用促進していきたい。
46	松山西中等教育学校	基本事項の定着状況を確認するために活用した。前期課程では、学力向上を目的として課題等に取り組んだ。

47	宇和島南中等教育学校	前期課程における小テスト
55	愛媛大学附属高等学校	活用していません
57	FC今治高等学校明徳校	使用していない
58	今治精華高等学校	活用していない。
60	済美高等学校	
61	聖カトリナ学園高等学校	
62	松山東雲高等学校	活用なし。
63	松山学院高等学校	
64	新田高等学校	利用なし
65	愛光高等学校	なし
66	松山聖陵高等学校	利用していない。
68	帝京第五高等学校	スタディサプリによる校内模試
69	済美平成中等教育学校	使用なし
70	新田青雲中等教育学校	使用していません。
1	川之江高等学校(定)	利用していない
5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
9	西条高等学校(定)	活用していない
14	今治西高等学校(定)	特になし。
20	松山東高等学校(通)	なし
21	松山南高等学校(定)	現在はまだ活用できていない。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	活用していない
30	大洲高等学校(肱川)	各教科担任に一任している。昨年度は研修を実施、今年度についても自己研修できるように資料は配布済み。
34	八幡浜高等学校(定)	活用できていない。
40	宇和島東高等学校(定)	Teamsを主に活用しているが、定時制におけるEILSの活用方法について、検討を重ねている。
58	今治精華高等学校(通)	
67	未来高等学校(通)	teamsを用いて、各授業の資料配布や学校からの諸連絡を行っている。
48	松山盲学校	小学部では、県独自の学力調査等を点訳し、児童の実態に応じて取り組みその解答を教師が入力した。県全体での結果を本人、保護者に返し、説明した。 中学部では読書記録をつけている。感想を簡単に書くことができるので、取り組みやすかった。
49	松山聾学校	定期的に学力調査を行っている。
50	しげのふ特別支援学校	・小・中学部一般学級(準ずる教育課程)では、EILSにおいて該当学年が県学力テストだけでなく、チャレンジテスト、10分間テスト、タイピングテストに参加している。
51	みなら特別支援学校	活用していません。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・活用していない。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	現在は使用していないが、学習に利用できる教材等の情報共有や活用を進めていきたい。
54	新居浜特別支援学校	活用していない。
54	新居浜特別支援学校(川西)	学力テストを実施する「準ずる教育課程」の生徒が在籍していないため活用していない。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	読書記録に使用している。 タイピング練習に毎日取り組み、検定も受けた。
56	愛大附属特別支援学校	登録していません。

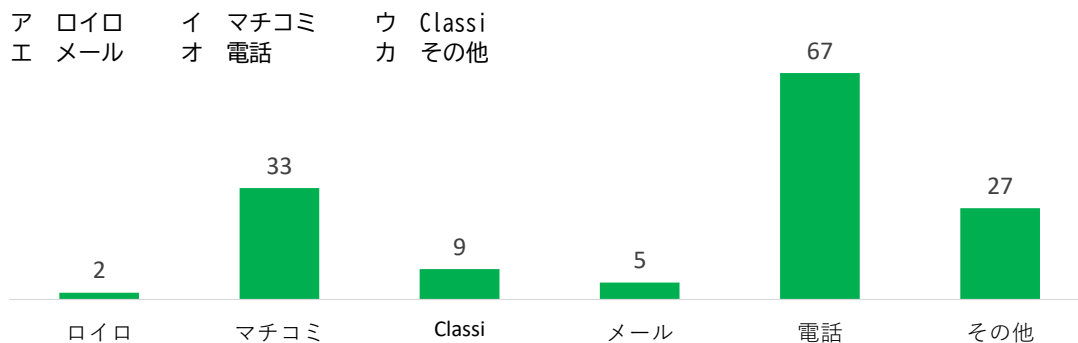
(4) デジタル採点システム（EILS－PBT等）の活用事例と効果

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	採点時間が大幅に短縮されるため導入している教員が多い。その一方で、採点結果のデータ返却については、その方法が十分理解できておらず、印刷量が増えている。また、成績データを学習系から校務系に移すことが手間に感じている。
2	三島高等学校	定期考査やその他のテストでも活用し、採点業務の時間が短縮された。正答率のデータを指導の際の参考にしたし、誤答分析にも効果的である。
3	土居高等学校	数学や地歴・公民など特定の教科では採点の時間が短縮された。しかし、国語など一部の教科では記述が多いため使われていないのが現状である。
4	新居浜東高等学校	観点別得点の集計ができるため、大幅な採点時間の短縮につながっている。
5	新居浜西高等学校	定期考査で自動採点システム「百問綾乱」を利用している。答案用紙を読み込めば、紙の解答用紙ではないので教員の採点担当がやりやすく、テレワークもできる。得点集計のミスもなく、解答用紙を持ち歩かないので、置き忘れるなど生徒の情報を盗まれる事故も防ぐことができる。しかし、採点ミスがあったのに、教員が訂正を忘れてしまったり、自動採点により一律に採点をやり直した結果を周知できていないケースが見られた。解答用紙ではないので、PC画面で採点できたと認識してしまい、点数が変わったことを生徒が分かっていないのは防がなくてはならない課題である。
6	新居浜南高等学校	百問綾乱を採用。採点時間の短縮、得点の集計や統計の自動化、複数人による同時採点、解答の改ざん防止など効果があった。課題は採点開始前の設定に時間かかることと、解答用紙印刷のため、インクと用紙を余計に消費すること。
7	新居浜工業高等学校	(1) 教員側の活用効果 ・採点の時間が大幅に短縮された。 ・生徒の点数がデータに残るため、成績処理の負担も減った。 ・設問ごとに正答率が出るため、生徒の苦手な単元が把握しやすくなった。 (2) 生徒側の活用効果 ・順位や偏差値が表示されるため、自分の立ち位置が分かり、勉強への意識が向上した。 ・設問ごとの正答率を見て、自分の苦手なところを把握することができ、テスト対策の参考になった。 (3) 課題 ・全教科でデジタル採点をしてEILSで返却できるようになれば、個人別の全教科採点結果(個票)を出力できるので、定期考査を模試のように分析することもでき、さらに効果的であると思われるが、EILSを活用することに抵抗や不要性を感じている方も多く、実現をさせるには時間を要すると感じている。
8	新居浜商業高等学校	課題としては、デジタル採点後の答案をプリントアウトして返却した場合、ペーパーレスに逆行する状況が生じること。
9	西条高等学校	採点に要する時間が短縮されている。また、設問ごとの正答率の分析が容易になり、理解が不十分な設問に関して重点的に解説を行うことで、理解度の向上を図ることができるようになった。
10	西条農業高等学校	・テストの採点・集計時間が激減する。 ・Teamsを利用して、答案を返却できる。 ・不正行為の防止になっている。 ・文字の読み取りが困難な筆跡の答案確認が難しい。 ・サーバーとの接続が不安定な場合、答案がフリーズする。 ・一般入学者選抜の採点でも使用できないか、検討してほしい。
11	小松高等学校	複数の教員が活用している。採点時間や集計時間の大幅な短縮が見られ、業務改善の一つとなっている。
12	東予高等学校	ICT教育推進課が、自動採点システムについて、活用方法についての教職員研修会を実施した。研修後、普通教科の教員が利用している。考査等の採点時間の短縮や設問の分析が容易となることや、答案返却のデジタル化ができる点も有効である。
13	丹原高等学校	利用者は増加している。採点時間の短縮、集計作業の簡略化が可能となった。設定等をわかる先生に依頼することがあり、業務の偏りが生じている。
14	今治西高等学校	各教科、積極的にEILS－PBT等の活用している。特に定期考査での使用において、採点時間が短縮となった。本校では、答案を印刷して返却しているので、ペーパーレス化と逆行しているのが課題である。
14	今治西高等学校(伯方)	なし
15	立今治南高等学校	導入時の校内研修会のおかげで、ほとんどの教員がEILS－PBTを活用でき、業務の効率化につながっている。課題は、①自動採点の文字種が少ないことや、②自動採点の文字認識の精度がやや低いこと、③国語、数学、外国語などの採点にはあまり使えないこと等である。
16	今治北高等学校	(効果)活用されており、咲いて時間の短縮、効率化に寄与している。 (課題)返却方法としてプリントアウトしたものをを用いているが、オンラインでの返却へ移行したい。

16	今治北高等学校(大三島)	生徒の解答が画面上に並ぶので、比較しながら丸を付けやすい。一方で、本校のように生徒数が少なく採点枚数も少ない学校では、設定する時間や労力とつり合わないと思う教員もいる。
17	今治工業高等学校	R6には、多くの教員が活用した。業務負担の軽減につながっている。文章の読み取り、漢字の読み取りに課題があるため、選択問題が多くなる傾向がある。
18	弓削高等学校	採点作業自体は速く客観的に行うことができるようになったと思われるが、採点設定に時間がかかっている。
19	北条高等学校	データの分析が早くできる。生徒の答案も学習系で扱うことについて。
20	松山東高等学校	多くの先生方が利用しており、採点の負担軽減につながっている。課題は、EILS-PBTが採点しやすい形の問題に合わせることで、問題の質低下が懸念されることである。
21	松山南高等学校	採点業務の大幅な短時間化。入試業務でも活用できないか。
21	松山南高等学校(砥部)	活用できていないが、今後活用したいと考えている。
22	松山北高等学校	全ての教科の定期考査で活用しています。課題が出るたびによりよい方法を検討している状況です。
22	松山北高等学校(中島)	ほとんど活用できていない。 今後有効な科目で使用していきたい。
23	松山中央高等学校	採点業務の時間短縮に有効である。課題として、教員側の操作スキルの向上や慎重な確認の必要性が挙げられる。
24	松山工業高等学校	多くの教員が昨年度から利用を開始し、業務効率化の面で好評である。
25	松山商業高等学校	業務改善につながっている。課題はスキャナーの消耗
26	東温高等学校	採点業務の負担軽減に大いに役立っている。しかし、採点ミスもあり、あくまでも補助的な役割として認識したうえで使用する必要がある。
27	上浮穴高等学校	情報や理科で実施し、採点時間の短縮につながった。今後、他の教科に広げていく予定である。
28	伊予農業高等学校	採点、確認にかかる時間が減った。
29	伊予高等学校	採点時間の短縮と採点ミスを防げる効果が大い。生徒情報等を設定している担当者の負担は少なくない。
30	大洲高等学校	定期考査、小テスト等のデジタル採点と早期の返却で活用している。教師の業務軽減や時間短縮の効果がある。
31	大洲農業高等学校	特に普通科科目において業務の改善につながっている。
32	長浜高等学校	活用事例なし(一般入試に導入できれば業務改善と普及の一石二鳥だが…)
33	内子高等学校(小田)	年度内に試験的な活用の実施を検討している。
33	内子高等学校	・採点にかかる時間を短縮できて、業務改善につながった。 ・採点後のデータが学習系に蓄積されるとともに、情報漏洩の可能性があること。
34	八幡浜高等学校	考査等の採点に活用している
35	八幡浜工業高等学校	定期考査の採点で活用。
36	川之石高等学校	定期考査等で活用している。(一部の教科)
37	三崎高等学校	全教員に研修を行い活用している
38	宇和高等学校	採点時間の短縮にはなるが、初期設定に時間を要する。
39	野村高等学校	各教科で検討中。教科の特性もあり一律実施は難しい。
40	宇和島東高等学校	・採点業務の時間短縮 ・チームによる採点 ・チームでの採点を通した指導観の共有 ・教務課業務の効率化による、他の校務文章課との連携の円滑化
40	宇和島東高等学校(津島)	空欄を正解にする事例があり、精度に問題がある。
41	宇和島水産高等学校	なし
42	吉田高等学校	・定期考査や漢字テストで活用している。採点・集計時間が大幅に短縮されている。
43	北宇和高等学校	採点業務が早く終わる
43	北宇和高等学校(三間)	採点時間の短縮と、採点ミスの減少につながった。生徒が少人数なので使用するインセンティブがあまりなく、勧めても活用しない傾向が強い。
44	南宇和高等学校	一部の教科で利用。
45	今治東中等教育学校	定期考査・課題テスト・校内模試において、全ての教科で活用している。設問ごとの正答率等のデータを蓄積し、教科指導に役立てている。
46	松山西中等教育学校	ほとんどすべての科目で活用した。採点・評価の時間短縮で最も効果があり、個人成績の分析においても定着度の確認に活用できる。
47	宇和島南中等教育学校	多くの教科で利用が始まっている。採点したものをプリントアウトして生徒へ返却しているため、経費面での課題を感じる。
55	愛媛大学附属高等学校	デジタル採点システムはお試して実施をしたが、全教員で実施はできていない。今年度本格導入を検討中である。
57	FC今治高等学校明徳校	使用していない
58	今治精華高等学校	活用していない。
60	済美高等学校	
61	聖カタリナ学園高等学校	
62	松山東雲高等学校	活用なし。
63	松山学院高等学校	
64	新田高等学校	利用なし
65	愛光高等学校	希望者(約40名)が使用し、採点時間の短縮と結果の分析に効果があります。
66	松山聖陵高等学校	利用していない。
68	帝京第五高等学校	検討中

69	済美平成中等教育学校	Smarmy を導入している。 【メリット】採点時間の減少、データ管理のしやすさ、答案の改ざんができない 【課題】 操作習熟までの負担
70	新田青雲中等教育学校	使用していません。
1	川之江高等学校(定)	利用していない
5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
9	西条高等学校(定)	活用していない
14	今治西高等学校(定)	特になし。
20	松山東高等学校(通)	活用を試みたが、3のシステムに合わなかった
21	松山南高等学校(定)	各科目の受講人数が少ないため、現在はあまり活用できていない。今後は、人数の多い講座から積極的に取り入れていく予定である。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	活用していない
30	大洲高等学校(肱川)	定時制には導入されていないため、不明。
34	八幡浜高等学校(定)	生徒数が少なく、活用できていない。
40	宇和島東高等学校(定)	教員への研修を行ったが、定時制では、EILS－PBTよりも従来通りの採点の方が、時間も労力も少なく済むため、活用するには至っていない。
58	今治精華高等学校(通)	
67	未来高等学校(通)	導入していない。
48	松山盲学校	小、中学部では昨年度の県独自の学力調査等に取り組んだ。即時採点ができるので、弱視の生徒は復習しやすく、教員は負担が少なかった。
49	松山聾学校	導入はしているが、十分に活用していない。
50	しげのぶ特別支援学校	活用できていない。
51	みなら特別支援学校	活用していません。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・活用していない。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	現在は使用していない。
54	新居浜特別支援学校	活用していない。
54	新居浜特別支援学校(川西)	「準ずる教育課程」の生徒が在籍していないため活用していない。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	使用していない。
56	愛大附属特別支援学校	特になし

(5) 学校への欠席連絡の方法（複数回答可）



ア ロイロ		イ マチコミ	
松山南高等学校(定)	土居高等学校	松山東高等学校	宇和島水産高等学校
愛大附属特別支援学校	新居浜東高等学校	松山中央高等学校	北宇和高等学校
	新居浜南高等学校	松山工業高等学校	南宇和高等学校
	新居浜工業高等学校	松山商業高等学校	宇和島南中等教育学校
	新居浜商業高等学校	東温高等学校	今治西高等学校(定)
	小松高等学校	伊予農業高等学校	松山工業高等学校(定)
	今治西高等学校(伯方)	伊予高等学校	しげのぶ特別支援学校
	今治西高等学校	大洲高等学校	宇和特別支援学校(知的)
	今治北高等学校	内子高等学校	新居浜特別支援学校
	今治北高等学校(大三島)	八幡浜高等学校	新居浜特別支援学校(川西)
	北条高等学校	野村高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)
ウ Classi		エ メール	
西条高等学校	川之石高等学校	長浜高等学校	松山聾学校
松山北高等学校	松山西中等教育学校	新田高等学校	
吉田高等学校	今治精華高等学校	松山聖陵高等学校	
松山南高等学校	松山聖陵高等学校	済美高等学校	
上浮穴高等学校		松山工業高等学校(定)	
オ 電話		カ その他	
川之江高等学校	内子高等学校(小田)	八幡浜高等学校(定)	川之江高等学校
土居高等学校	八幡浜高等学校	宇和島東高等学校(定)	三島高等学校
新居浜東高等学校	八幡浜工業高等学校	今治精華高等学校(通)	新居浜西高等学校
新居浜南高等学校	川之石高等学校	未来高等学校(通)	西条農業高等学校
新居浜工業高等学校	三崎高等学校	松山盲学校	丹原高等学校
新居浜商業高等学校	宇和高等学校	松山聾学校	立今治南高等学校
小松高等学校	野村高等学校	しげのぶ特別支援学校	今治工業高等学校
東予高等学校	宇和島東高等学校(津島)	みなら特別支援学校	松山北高等学校(中島)
今治西高等学校	宇和島水産高等学校	今治特別支援学校	伊予農業高等学校
今治西高等学校(伯方)	北宇和高等学校	宇和特別支援学校(知的)	八幡浜高等学校
今治北高等学校	北宇和高等学校(三間)	新居浜特別支援学校	宇和島東高等学校
今治北高等学校(大三島)	南宇和高等学校	新居浜特別支援学校(川西)	今治東中等教育学校
今治工業高等学校	今治東中等教育学校	新居浜特別支援学校(みしま)	愛媛大学附属高等学校
弓削高等学校	松山西中等教育学校		FC今治高等学校明徳校
北条高等学校	今治精華高等学校		聖カタリナ学園高等学校
松山南高等学校	松山東雲高等学校		松山東雲高等学校
松山南高等学校(砥部)	新田高等学校		松山学院高等学校
松山北高等学校(中島)	松山学院高等学校		新田高等学校
松山中央高等学校	松山聖陵高等学校		愛光高等学校
松山商業高等学校	済美平成中等教育学校		帝京第五高等学校
東温高等学校	新田青雲中等教育学校		済美平成中等教育学校
上浮穴高等学校	新居浜西高等学校(定)		川之江高等学校(定)
伊予農業高等学校	西条高等学校(定)		松山東高等学校(通)
伊予高等学校	今治西高等学校(定)		松山商業高校(定)
大洲農業高等学校	松山南高等学校(定)		未来高等学校(通)
長浜高等学校	松山工業高等学校(定)		みなら特別支援学校
内子高等学校	大洲高等学校(肱川)		みなら特別支援学校(松山城北)

(6) 業務改善につながるA I の活用事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	推薦書の参考文の作成、文章の構成や推敲、検索にかかる時間の短縮
2	三島高等学校	Benesseの志望理由書ナビの活用を検討している。
3	土居高等学校	部活動の練習メニューの考案(Chat GPT)
4	新居浜東高等学校	情報の授業において、小テストや授業用資料の作成に利用した事例がある。
5	新居浜西高等学校	活用事例はありません。
6	新居浜南高等学校	学校として共通の活用は行っていない。
7	新居浜工業高等学校	・昨年度の事例として、数学の文章問題について、Chat-GPTに基本問題を作成させ、それを参考に類題を作成した事例と、ホームルーム活動において、1つのテーマに対して50分の活動内容の計画の素案をChat-GPTで作成し、それを基にする事により、計画を立てる段階で、時間短縮につなげた事例があった。
8	新居浜商業高等学校	活用できていない。
9	西条高等学校	個人的に活用している教員はいるが、学校全体としての取組は行っていない。
10	西条農業高等学校	・文書や画像の作成 ・文章の要約 ・スライドの作成 ・アンケートの分析 ・指導案や授業案の参考例。 ・観点別評価に即した考查問題等の参考例。 ・既存の名簿から、ローマ字表記の名簿を作成。 ・独自のウェブアプリ制作や農業分野におけるダッシュボードや生育管理アプリの生成(フロントエンドとバックエンド)
11	小松高等学校	イラストや図案等の検索。講義や講演内容のアドバイス。
12	東予高等学校	現状は活用をしていない。ICT教育推進課が、生成AIについての教職員研修を実施した。今年度も実施予定。
13	丹原高等学校	今年度より3年生の志望理由書作成をAI添削で行う。(ベネッセの有償サービス)
14	今治西高等学校	生成AI等の活用については、研究が進んでいないのが現状である。今後、教職員研修や校務での適切な活用に向けた取り組みを推進していき、教職員のAIリテラシー向上や働き方改革につなげていきたいと考える。
14	今治西高等学校(伯方)	文書作成の補助
15	立今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	一部の教員が教材研究、授業での提示に使用。生徒は保護者の承諾を得ていないため、授業においては使用させていない。
16	今治北高等学校(大三島)	英作文の問題のうちいくつかをAIを使って作った教員がいた。自分が思いつかない視点からの問題ができて面白かったということである。
17	今治工業高等学校	特記事項なし
18	弓削高等学校	SNSの文章やレポート・志望理由書等の作成に活用している。
19	北条高等学校	面接指導で利用
20	松山東高等学校	ディベートの対戦相手として活用。課題研究のテーマ相談。
21	松山南高等学校	受験指導の補助として用いる。実現したい作業のためのエクセル関数を提案させる。
21	松山南高等学校(砥部)	感想や生徒の授業評価、学びの言語かに対して、それらを分析するために、テキストマイニングなどの分析ソフトを利用している。
22	松山北高等学校	特にありません。
22	松山北高等学校(中島)	授業において試験的に活用し、文書作成等の一助として今後活用したい。
23	松山中央高等学校	情報科におけるプログラミングコードの作成や、外国語科における英文の添削など
24	松山工業高等学校	放送によって生徒に一斉連絡をする際に、音声生成AIを用いて、ナレーション音声を作成し利用した。
25	松山商業高等学校	生徒指導要録、プレゼン作成
26	東温高等学校	特記事項なし
27	上浮穴高等学校	活用できていない。
28	伊予農業高等学校	活用していない。
29	伊予高等学校	今年度から、探究活動の記録や振り返りを入力すれば生成AIがフィードバックするアプリ開発を株式会社アイサイトと連携して実施しているところである。
30	大洲高等学校	特に活用していない。
31	大洲農業高等学校	小論文の添削指導において、様々な解答パターンを得られる。業務における文章の作成において参考にできると思われるが、個人レベルでの活用状況である。
32	長浜高等学校	特記事項なし
33	内子高等学校	特に無し。
33	内子高等学校(小田)	特に活用はしていないが、今後の業務改善に向け活用することを検討中である。
34	八幡浜高等学校	特になし
35	八幡浜工業高等学校	Excelの関数やマクロのチェックと作成。
36	川之石高等学校	特になし
37	三崎高等学校	教材の作成、英文の添削、指導案の作成
38	宇和高等学校	活用なし。
39	野村高等学校	活用していない。
40	宇和島東高等学校	・各種原稿、表の草案作成、校正

40	宇和島東高等学校(津島)	なし
41	宇和島水産高等学校	なし
42	吉田高等学校	活用していません。
43	北宇和高等学校	小テストの作成
43	北宇和高等学校(三間)	文書原案の作成で使用例がある。
44	南宇和高等学校	事例なし。
45	今治東中等教育学校	情報の授業で、解説用のプレゼン資料を作成した。
46	松山西中等教育学校	特になし
47	宇和島南中等教育学校	特になし
55	愛媛大学附属高等学校	AIを活用できていません。
57	FC今治高等学校明徳校	文章作成の草案づくりに使用
58	今治精華高等学校	活用していない。
60	済美高校	小テストの作成等
61	聖カタリナ学園高等学校	回覧文書や保護者宛て文書など、生成AIで校正等を行う。
62	松山東雲高等学校	特になし。
63	松山学院高等学校	現在、プロジェクトを作り、活用を進めている。
64	新田高等学校	特になし
65	愛光高等学校	希望する教員がアンケートの分析や問題作成、成績分析に使用している。
66	松山聖陵高等学校	特になし。
68	帝京第五高等学校	・小テストの作成 ・英検等の英作文の添削
69	済美平成中等教育学校	Python(プログラミング)によるデータ集計及びデータ統合 会議資料用のデータ整理及び分析
70	新田青雲中等教育学校	一部の教員で文書作成のサンプルの利用を行っている。 生徒の作成物のルーブリック評価への活用の研究を行っている。
1	川之江高等学校(定)	特になし
5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
9	西条高等学校(定)	特にはない。
14	今治西高等学校(定)	特になし。
20	松山東高等学校(通)	文章の校正
21	松山南高等学校(定)	AIを活用してマクロを作成することで、定型業務を迅速かつ簡略化することができ、業務改善につながっている。
24	松山工業高等学校(定)	検討中
25	松山商業高校(定)	なし
30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
34	八幡浜高等学校(定)	特になし。
40	宇和島東高等学校(定)	科目によっては、生成AIについての説明を行ったり、生徒が作成した英作文が間違っていないか確認するためのツールとして活用したりしている。
58	今治精華高等学校(通)	特になし
67	未来高等学校(通)	教員の作成する授業計画や、各授業の配布物等のブラッシュアップに用いている。
48	松山盲学校	特にありません。
49	松山聾学校	教員には、使用できる環境に整えた。また、利用・活用の校内研修を行った。
50	しげのぶ特別支援学校	本校における活用事例はない。
51	みなら特別支援学校	把握していません。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・活用していない。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	AIを通じた検索を行い、文書作成が適切に行えるようになった。
54	新居浜特別支援学校	特になし
54	新居浜特別支援学校(川西)	授業にかかわる支援としてAIを活用し、生徒が作成した俳句の評価を行った。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	オンラインデザインツール「Canva」の活用を始めた。教育用のテンプレートが豊富にそろっており、イラストを使った授業資料やプレゼンテーションなどで効果的に活用できる。時間を節約しながら質の高い資料を作成できる。ChatGPT, Copilot等を活用して、保護者向け文書の作成や授業のアイデアを出し合った。
56	愛大附属特別支援学校	特になし

(7) ICT活用上(上記(1)～(6)等)の課題(通信環境に関することは除く)

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	強いていえば、利用できるアプリの少なさ
2	三島高等学校	使用する授業(教科・科目・ホームルーム・類型)に偏りが見られる。
3	土居高等学校	ICTの活用方法(生成AIなど)が年々増えており、それに個人がすぐに対応することが大変である。
4	新居浜東高等学校	デジタル採点システムを利用する教員が増えているが、利用できるスキャナーが不足している。また、テストの返却は紙媒体で行っている教員が大半であるため、以前より紙やプリンタのインクの消費量が増えた。
5	新居浜西高等学校	端末ばかりに頼り、記述力が低下する恐れがある。
6	新居浜南高等学校	タブレットの充電が不十分な状態であるとその日は使用できなくなる。
7	新居浜工業高等学校	・生徒の間でも、文字入力のスPEEDやワードやエクセル、パワーポイントなど基本的なソフトを活用する能力に個人差があり、こちらが意図していることができないケースがある。回数をこなせばそれなりに生徒はできるようにはなるが、そのための指導に時間がかかることもある。
8	新居浜商業高等学校	情報モラルの未熟さから、問題行動が生じている。
9	西条高等学校	教員間におけるICT活用技能に差がある。
10	西条農業高等学校	・教師側の知識技能。 ・家庭での保管、持っていくときの保全。 ・生徒や家庭が端末を管理できていない。持っていない、充電していない、破損する。 ・プロジェクタとホワイトボードを全教室に設置してほしい ・ICTでの学習は、定着度合いが悪いという研究結果が出ている。ICTでの学習のよさと、紙と鉛筆での学習のよさについて、教員側にも研修が必要である。 ・調理実習や被服製作など実技を伴う活動では、タブレットが汚れないよう配慮する必要があり、使用場面が限定されることがあります。
11	小松高等学校	一部の生徒には、タブレットの管理状況が悪く、回収後のメンテナンスや修理に時間を要する。
12	東予高等学校	一人一台端末の運用。毎日持ち帰らせて、家庭学習や授業で活用しているが、端末の管理(紛失・故障・メンテナンス)が問題である。本校生徒の実態にあった有効かつ効果的な活用方法の工夫が必要である。
13	丹原高等学校	できる人・分かる人に業務が集中する。
14	今治西高等学校	教材作成やクラス運営を行っていく上で、日々ICTを活用しているが、それぞれの機器、アプリを最大限活用する技術と、それを研究するための時間が追いついていないのが課題である。
14	今治西高等学校(伯方)	教員によって活用状況に差がある
15	立今治南高等学校	無料で利用できるアプリやコンテンツの充実
16	今治北高等学校	特になし
16	今治北高等学校(大三島)	使ってみようという思い切りと、慣れが必要である。
17	今治工業高等学校	活用するための各種設定、準備を担当する者の負担(特に年度初め)が過重になっている。業務分担も難しいため、現状の改善案はない。
18	弓削高等学校	教員間、生徒間のICT活用スキルに大きな差が見られる。
19	北条高等学校	office365のアプリを入れて頂きたい。
20	松山東高等学校	端末のバッテリー消耗によりすぐに電源が落ちる端末が多く、タブレットとして利用しにくい。
21	松山南高等学校	生徒端末のスペック。(Web版365、カメラ、バッテリー)
21	松山南高等学校(砥部)	ipadなどと、Windowsの混用による共有の難しさ。Apple社のPCも入れてほしい。ソフトの変換について
22	松山北高等学校	使用方法の指導やトラブルへの対応で、一部の教員に多大な負担がかかる等の課題があります。
22	松山北高等学校(中島)	教員の知識とスキルの向上。
23	松山中央高等学校	教育効果への期待が、教員によって意見は分かれている。生徒端末の利用に際して、本来の目的外の利用をする生徒も見られるなどの課題がある。
24	松山工業高等学校	年度始めの運用準備(アカウント管理や諸設定)において、特定の担当教員に大きな負担がかかる。
25	松山商業高等学校	一人一台端末の管理(破損、パスワード忘れ)
26	東温高等学校	一人1台端末の経年劣化。それに伴う教員が担う業務の負担。
27	上浮穴高等学校	教員間のICTスキルの差が激しい。
28	伊予農業高等学校	教員、生徒それぞれのスキルの差、スキル不足。
29	伊予高等学校	機器の設置や不具合が起こったときの対応力に教員間の格差がある。
30	大洲高等学校	教員側のスキルアップや意識向上など。
31	大洲農業高等学校	担当教員の負担が大きい。生徒間での習熟度の差が大きく、一斉授業の場合に進度が合わないことがある。生成AIを用いて感想文等を丸写しする生徒もあり、情報の適切な利用を指導する必要がある。
32	長浜高等学校	共有端末・共有フォルダのデータ管理 等
33	内子高等学校	(学校で保管させるためではなく)学校でも充電できる環境を整備することで、生徒が安心してタブレットを利用することができる。
33	内子高等学校(小田)	教員側にも生徒側にもICT技術の習得度に大きな差が見られる。ICTを活用する機会を、使いやすいツールから実践していくことを検討している。
34	八幡浜高等学校	特になし

35	八幡浜工業高等学校	・生徒が一人一台端末を忘れたり、充電していないことがある。 ・生徒の端末が壊れることがあり、管理する教員の負担が大きい。
36	川之石高等学校	教員によって活用状況に差がある。
37	三崎高等学校	担当者の業務負担増加
38	宇和高等学校	教員のスキルもあるが、生徒への技術支援が難しい。
39	野村高等学校	教員間のスキルの差が激しい。新しい取組が次々と導入され、現場は混乱している。
40	宇和島東高等学校	特になし
40	宇和島東高等学校(津島)	なし
41	宇和島水産高等学校	アンケートの回答率が低い。
42	吉田高等学校	・生徒端末の整備(Windowsのアップデート)及び故障
43	北宇和高等学校	新しいことに対応する知識やスキルに差が大きい
43	北宇和高等学校(三間)	生徒端末の動作が遅い。教員用端末のバッテリーがすぐ切れるので授業に行くたびに電源コードが必要になる。
44	南宇和高等学校	教員・生徒によってスキルの差が激しい。
45	今治東中等教育学校	1人1台端末について、毎日持ち帰り各自の家庭で充電をするよう指導しているが、徹底が難しい。
46	松山西中等教育学校	家庭での利用について、端末利用時間や目的外使用の問題のある生徒がいる。 端末の故障やメンテナンス。 前期課程と後期課程で端末が異なるため、機種変更の作業が煩雑である。
47	宇和島南中等教育学校	教員のスキルの差
55	愛媛大学附属高等学校	ICT機器の使用が増えると、生徒の端末の充電が持たなくなり、学校内での充電は禁止しているため使用できない状況が出てくる。
57	FC今治高等学校明徳校	一人一代端末のさらなる有効活用
58	今治精華高等学校	特になし。
60	済美高校	教員による活用頻度や活用内容に差がある
61	聖カトリナ学園高等学校	購入費用や維持費が高く、利用しないと費用対効果が得られないため、保護者からのクレームにつながりかねない。
62	松山東雲高等学校	教員間、教科間の活用差が生まれる可能性、担当をしている教員への負担の増加
63	松山学院高等学校	教員により、スキルに大きな差がある。
64	新田高等学校	生徒・教員ともに使用頻度に差が生じている。
65	愛光高等学校	教員間の格差
66	松山聖陵高等学校	情報の取捨選択と、教員の使用頻度やスキルアップが課題。
68	帝京第五高等学校	教務システム・Web出願システムの維持費
69	済美平成中等教育学校	生徒:学年特性があること 教員:教員の習熟に差があること、担当教員の負担増
70	新田青雲中等教育学校	ICTを主幹となって活用する教員の確保と、ICTを活用して業務を行うことのサポートができる教員の育成。
1	川之江高等学校(定)	活用できている生徒と、ほとんどできていない生徒との格差
5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
9	西条高等学校(定)	知識不足でやりたいと思ったことがスムーズに実施できず、無駄に時間がかかったり、諦めたり、無意味な結果に終わったりする。
14	今治西高等学校(定)	生徒の情報活用能力に格差がある。
20	松山東高等学校(通)	1人1台端末を活用するための、教員のスキルが上がらない
21	松山南高等学校(定)	MS365のウェブ版officeの仕様がアプリ版と異なるため、生徒とファイルを共有することが困難である。
24	松山工業高等学校(定)	教員全体のスキルアップ
25	松山商業高校(定)	なし
30	大洲高等学校(脇川)	教員・生徒ともに習熟に差がある。また、毎日持ってきていても、帰宅後にteamsの投稿確認や充電及びアップデートをしていない生徒が多くみられる。
34	八幡浜高等学校(定)	生徒の活用能力の差が大きく、十分に活用できていない。
40	宇和島東高等学校(定)	生徒一人一人の活用スキルの差が大きい。家庭での端末の使用状況を把握しづらい。生徒の端末は、WordやExcelなどのソフトが無料版のため、Wordの縦書きが使用できないなど、活用しづらい場面がある。
58	今治精華高等学校(通)	特になし
67	未来高等学校(通)	生徒も教員もICTスキルや活用への意欲に個々人で大きな差がある。
48	松山盲学校	視覚障がいのある生徒は、Windowsのパソコンと、タブレット端末や視覚障がい者用の機器の両方の使用方法を身に付ける必要がある。各教室に配備されていたパソコンのリースが終了したが、アクセシビリティソフトが導入された端末を教育の場で用意し、紹介や練習することで生徒の導入を促すための需要は継続して存在する。
49	松山聾学校	特定の教員に業務が偏る場合がある。
50	しげのぶ特別支援学校	・教員のスキルに差がある。 ・アプリやソフトの不足により授業や業務に活用できないこと。 ・教職員のスキルアップを行うための時間が足りない。
51	みなら特別支援学校	生徒所有のタブレット端末の使い方について
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・文化祭で生徒がより使いやすくと教師が考えるアプリがインストールできない。 ・研修等は行っているが、教師の活用状況に差がある。
52	今治特別支援学校	教員のスキルが様々であり、研修を積んでいるが、実際に学ぶ時間は限られている
53	宇和特別支援学校(知的)	ICTに頼り過ぎて、偏見を生む場合があるため、常にバランスを保つことや広い視野が必要である。
54	新居浜特別支援学校	電子黒板の性能(タイプ)が教室によって違う

54	新居浜特別支援学校(川西)	全教職員、ICT活用に関する研修や教員間の情報交換などにより、技能の習熟は図られてきたが、活用については個人差がある。教職員間でより一層活用指導力の向上に努めたい。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	生成AI含めたICT活用スキルのより一層の向上。 1人1台端末の容量が不足する事例が増えてきた。
56	愛大附属特別支援学校	端末の管理・更新等の事務的作業にかかる人的資源の確保

5 校務支援システムについて（県立学校のみ）

（1）校務支援システムの運用により校内の業務改善につながったと思われる事例（要録作成や成績処理、出欠管理を除く）

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	授業内容の入力による確実な進捗確認、各部活動の部員数把握
2	三島高等学校	業務内容ごとの情報の在処がはっきりしており、引継ぎの際などに必要なものが見つけやすいと感じる。
3	土居高等学校	資格取得の記録、部活動の入部状況など、これまで各課ごとに行ってきた業務を一括で管理することができ便利になった。
4	新居浜東高等学校	メッセージ機能により、教員間での情報共有が容易になった。
5	新居浜西高等学校	校内外とのメッセージや掲示板機能が大変便利である。また、アンケートの回収や集計業務も簡素化された。
6	新居浜南高等学校	生徒手帳・各種証明書の発行、卒業台帳等の作成や部活動名簿・資格取得情報の管理など、生徒の基本情報に関する業務の負担軽減。GWの掲示板やメッセージ、返信機能により校内外の教員との連絡がスムーズになった。
7	新居浜工業高等学校	・メッセージ機能やアンケート回収機能を活用することで、ペーパーレス化が図れた。
8	新居浜商業高等学校	スケジュール管理や情報共有など格段に容易になった。
9	西条高等学校	グループウェアの活用により、教員間での情報共有が容易になった。
10	西条農業高等学校	・メッセージなどを利用することで、ペーパーレス化できており、印刷作業などが軽減された。 ・資料や教育委員会などからの文書もデータ化されているので、整理が比較的容易になった。 ・アンケートの実施については、回答状況や集計作業などで、かなりの業務改善になっている。 ・出張や年休などの人が表示されるので、所在が分かる。 ・出欠や遅刻理由などの確認がしやすくなった。 ・校内施設の予約や使用状況の確認がしやすくなった。
11	小松高等学校	部活動の登録者が分かりやすい。資格取得者の入力、一覧が容易である。
12	東予高等学校	グループウェア機能により、スケジュール管理が可視化されたことで、学校内の情報伝達などがスムーズになり確認もしやすくなった。校務系の共有フォルダやメッセージ機能の活用により、業務に必要なデータのやり取りが簡単になっている。
13	丹原高等学校	調査書の作成
14	今治西高等学校	部活動での部員名簿作成や、生徒の顔写真登録することでの生徒証作成や、生徒を把握することができている。
14	今治西高等学校(伯方)	なし
15	立今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	生徒情報管理(個人情報、学籍等)、GW機能(掲示板、スケジュール、メッセージ等)
16	今治北高等学校(大三島)	入試業務では紙媒体の作成、回覧、通送(郵送)の手間がかなり省かれてきている。
17	今治工業高等学校	ポータル、メッセージ、電子掲示板により、情報共有が容易になった。出欠の管理は、R6より日々入力を導入、マニュアルを整備し学校全体の業務負担軽減につながった。
18	弓削高等学校	高校入試の報告の紙文書提出がなくなり、負担が軽減された。
19	北条高等学校	生徒情報の集約化や統計の管理が行いやすくなった。業務ごとに教務から説明する必要がなくなり、業務改善につながった。
20	松山東高等学校	各種証明書の発行が楽になった。また、メッセージ機能による連絡調整がスムーズにできるようになった。
21	松山南高等学校	メッセージや電子掲示板を用いた情報共有。紙書類提出の減少。
21	松山南高等学校(砥部)	校務分掌を超えてデータのやり取りが容易にできる。
22	松山北高等学校	住所や生年月日、部活動や委員会活動等が集約され、生徒の情報を把握しやすくなり、業務改善につながっています。
22	松山北高等学校(中島)	掲示板やアンケート機能の活用で、意見の集約が簡単になった。
23	松山中央高等学校	入試報告の一部がシステム上で行えるので、負担の軽減につながっている。しかし、志願者数報告など締め切り直後の報告のため、時間に追われてしまう。
24	松山工業高等学校	生徒証作成(生徒課)や卒業台帳作成(総務課)等の機能は、各科の業務改善に大きく貢献している
25	松山商業高等学校	統計の資料を使って生徒の出席状況がすぐにわかるようになった。
26	東温高等学校	メッセージ機能による文書提出、教員間の情報伝達等の簡便化。
27	上淳穴高等学校	メッセージや掲示板等を利用したことにより、業務が効率よく進んだ。
28	伊予農業高等学校	検定取得状況の確認がしやすくなった。生徒住所や部活動の名簿など生徒情報をまとめやすくなった。
29	伊予高等学校	生徒の個人情報が一元管理され、すべての面で業務改善されている。
30	大洲高等学校	生徒情報の管理、メッセージ機能により情報共有が簡易になった。
31	大洲農業高等学校	メッセージ機能やアンケート、掲示板等での連絡やスケジュール管理が容易になった。
32	長浜高等学校	データの一元管理、メッセージ・掲示板等の活用 等

33	内子高等学校	校内の連絡事項について、メッセージや掲示板を利用することで、ペーパーレス化につながった。
33	内子高等学校(小田)	職員会議の資料をデジタル化して行うことにした。職員室において各自の端末を利用して資料を確認しながら進めていくことで、印刷にかかる資源や時間の節約を実現している。
34	八幡浜高等学校	校内や県立学校間の連絡
35	八幡浜工業高等学校	・施設設備の予約状況の把握。 ・教員間での連絡・情報交換。
36	川之石高等学校	メッセージや掲示板機能による連絡
37	三崎高等学校	特になし
38	宇和高等学校	メッセージ機能や掲示板機能による紙媒体の減少。
39	野村高等学校	担任業務
40	宇和島東高等学校	文書処理、点検業務の効率化
40	宇和島東高等学校(津島)	なし
41	宇和島水産高等学校	生徒指導要録記入について、負担の軽減が図られている。
42	吉田高等学校	・掲示板やメッセージを活用することでの教員への効率的な連絡 ・アンケート機能による集計の効率化
43	北宇和高等学校	
43	北宇和高等学校(三間)	掲示板等での連絡、アンケートの集計など。
44	南宇和高等学校	要録作成・成績処理・出欠管理以外では特になし。
45	今治東中等教育学校	グループウェアのメッセージ機能やアンケート機能の活用により、効率的で密な情報交換ができています。
46	松山西中等教育学校	個人の予定や学校施設予約など、全職員で共有できている。職員朝礼や職員会議などの連絡事項をメッセージや掲示板で行っており、時間短縮になっている。
47	宇和島南中等教育学校	部活動登録の簡易化。部員名簿や生徒名簿などが写真入りで簡単に作成できる。
1	川之江高等学校(定)	特になし
5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
9	西条高等学校(定)	特にはない。
14	今治西高等学校(定)	生徒の情報管理の一元化や県への各種報告作業がスムーズになった。
20	松山東高等学校(通)	レポート提出状況等の学習状況が、誰でもいつでも確認ができる
21	松山南高等学校(定)	単位制のため、受講生が学年に関係なく存在する。そのため、履修状況の把握や生徒個別の時間割を作成することが容易となった。
24	松山工業高等学校(定)	各種証明書、調査書等の作成
25	松山商業高校(定)	情報の共有(時間割変更や出欠勤管理)
30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
34	八幡浜高等学校(定)	要録作成や成績処理、出欠管理意外に特に思いつかない。
40	宇和島東高等学校(定)	要録、成績、出欠以外には特にない。
48	松山盲学校	アンケート機能の活用で、簡単な調査がしやすくなった。
49	松山聾学校	(1)校外でも校務系にアクセスできるようになることもあって、リモートワークで可能な業務の種類が増えた。 (2)校内の情報共有がしやすくなった。
50	しげのぶ特別支援学校	・掲示板機能やメッセージ、施設設備予約等の活用により、情報共有や確認を正確に簡単に行えるようになった。 ・学校評価(教職員)をアンケート機能で実施することで、集計に係る時間が短縮された。 ・各種調査に関連する事項を付加項目機能で管理することで、個人情報の点でも、集計の点でも以前の紙媒体の方法に比べて大幅に改善された。 ・事務手続き用のデータが一括作成できるようになった。 ・各校との情報交換等がしやすくなった。
51	みなら特別支援学校	特にありません
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・名簿作成 ・生徒証の作成 ・30日以上欠席などの調査が瞬時にできる。
52	今治特別支援学校	児童生徒の健康状況の管理、保護者への健康診断結果と再受診のお知らせなどの作成ができるようになった
53	宇和特別支援学校(知的)	情報の共有や管理がしやすくなった。
54	新居浜特別支援学校	特になし
54	新居浜特別支援学校(川西)	グループウェアのメッセージや掲示板による連絡、周知の効率化。 運営委員会の書面開催に伴い、情報共有ツールとして活用。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	メッセージや掲示板、アンケートの活用により情報収集や他校とのやり取りがしやすくなった。

(2) 校務支援システムの運用・活用上の課題

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	年度末など各校で業務が重なる時期に通信状況が悪化するので改善してもらいたい。また、特定の教員に設定を任せているので、引き継ぎが十分行えるか不安が残る。教員端末を授業に利用しているので、無線有線の切り替えが手間である。
2	三島高等学校	教務課・情報教育課の負担が大きい。
3	土居高等学校	小規模校では、校務支援システムを担当している先生が異動するとそれに代わる先生が学校におらず、年度当初の業務に支障をきたす可能性がある。
4	新居浜東高等学校	年度始めの設定に時間がかかるため、管理責任者の業務負担が大きい。
5	新居浜西高等学校	年度初めや末に、管理・運営する教員の負担が大きい。
6	新居浜南高等学校	運用が個人の適性とスキルに依存しており担当できる教員に限られる。システム担当者引継ぎが簡単ではない。マニュアルではわからないことを試すミラー環境が欲しい。
7	新居浜工業高等学校	・年度初めの各種設定、各学期における成績や出欠処理の業務等、勤務時間内で終わらせることができないものに関して、担当者は時間外勤務を強いられている。
8	新居浜商業高等学校	年度更新の際や、入力内容の訂正にあたる教員への負担が重い。
9	西条高等学校	管理責任者の業務負担が大きい。
10	西条農業高等学校	・フリーズや強制終了してしまうことがある。 ・出張先からも校務支援システムにつなげられればいい。 ・システムの操作に不慣れな教員へのサポート体制 ・マニュアルを確認するだけでは解決できず、サポートセンターに問い合わせることが度々ある。 ・運用できる教員に限られてしまう。
11	小松高等学校	年度末、年度初めの各登録などでシステム管理者の負担が非常に大きい。高校入試の志願状況や報告において、システムの内容が充実しているため、紙媒体での提出を省略するなどシステム運用を効果的にする。
12	東予高等学校	運用も6年目になりスムーズな運用ができているが、システム運用をしている教員に限られているため、学校全体としては多くの教員がシステム運用をできるようにする必要がある。
13	丹原高等学校	引継がうまくいかない。
14	今治西高等学校	年度末や年度初めにおいて、校務支援システムの年度更新が必要であることは十二分に理解しているが、校内の年度末・年度初めの業務に支障が出ていると感じる。本校で実施されている観点別評価における評価の入力が本校では、三つの観点と評価を用いるため校務支援システムだけでは対応できないため、手動入力を行っている。また、入力した評価が正しいかどうかをエクセルファイルで確認している。
14	今治西高等学校(伯方)	マスターの設定等、年度初めの業務が大変である。小規模校では人事異動によって担当教員が全て転勤してしまうということも起こっている。
15	立今治南高等学校	①年度末・年度初めの多忙な時期に煩雑な設定をしなければならず、運用担当教員に大きな負担がかかる。 ②人事異動で担当者が変わる場合の引継ぎが大変である。 ③転退学や原級留置となる場合の履修・取得の確認作業や処理が煩雑である。
16	今治北高等学校	運用担当者の負担が大きい。従来のデータとの二重化が解消されていないため、入力時間が必要
16	今治北高等学校(大三島)	教員数の少ない学校では一人の教員が担当していることが多い。本校もそうである。現任者が転勤するとかなり混乱することが予想されるが、サブを付ける人的余裕がない。
17	今治工業高等学校	担当者の負担は年々増加している。特に1月～3月、4月の超過労働時間は一日平均6時間を超過過酷を極める。業務分担ができる教員がいないため、改善できる見込みはない。
18	弓削高等学校	時間割作成機能について、詳しく研究したい。
19	北条高等学校	システムについての問い合わせ時、ヘルプデスクにつながりにくいことがある。
20	松山東高等学校	昨年までの担当者2名がともに異動となったため、現在の担当者は苦慮している。
21	松山南高等学校	主担当者の負担軽減。業務のスムーズな引継ぎ。
21	松山南高等学校(砥部)	年度当初のマスタの設定や、生徒の履修登録など、システム管理担当者の負担がかなり大きい。
22	松山北高等学校	出欠席の記録や指導要録等で、前年度の内容を訂正するのが難しい等の課題があります。
22	松山北高等学校(中島)	年度初めの各種設定は負担が大きい。
23	松山中央高等学校	システムを管理する一部の教員に、多くの負担がかかっている。
24	松山工業高等学校	特定の担当者に負担がかかる。
25	松山商業高等学校	新学期に入って円滑に運用するためには、準備に莫大な時間がかかる
26	東温高等学校	校務支援システムを十分に理解し、活用できる教員が少なく、一部の教員に負担がかかってしまうこと。
27	上浮穴高等学校	校務支援担当者の負担。異動による引継ぎの問題。
28	伊予農業高等学校	一部の教員への負担が増えている。
29	伊予高等学校	運用担当者の業務負担が大きいことに加え、業務を分担しにくい。
30	大洲高等学校	校務支援システム関係担当者に設定等の負担が集中している。
31	大洲農業高等学校	担当者の負担が大きい。
32	長浜高等学校	多忙期に担当者のみに多大な業務が重複、操作手順が分かりづらい 人事異動等に伴う役割分担等の困難さ 等

33	内子高等学校	運用・活用に向けた設定が複雑で、担当者以外が容易に扱うことが難しい。
33	内子高等学校(小田)	日々の業務の確認や処理では、細かな処理方法の確認に時間を要し、処理が遅くなったりするなど、通常の業務以外にかなりの労力が必要で、担当者に大きな負担となっている。また、年度末・年度始めには、異動処理を含めた処理内容が非常に多く、担当者にはかなり大きな負担となっている。しかも、システムを理解している者がその学校に必ず在籍しているわけでもなく、また、分かっているが別の分掌を担当していることもある。そのため、専門的な知識を有した人員を一時的に各校に配置する等の負担軽減策を今後とも検討していただければ幸いである。
34	八幡浜高等学校	特別な事例の場合、業者への問い合わせになるので、対応に時間がかかる
35	八幡浜工業高等学校	管理・運営を担当する教員の負担が大きい。
36	川之石高等学校	校務支援システム担当者の負担が大きい。
37	三崎高等学校	年度末の処理業務の研修をオンラインでやって欲しい
38	宇和高等学校	作業時にフリーズすることがある。
39	野村高等学校	年度末、年度当初の担当者の負担が大きい。
40	宇和島東高等学校	・年度初めの初期設定による業務負担
40	宇和島東高等学校(津島)	なし
41	宇和島水産高等学校	メッセージ・掲示板等で、未読の状態が長く続く教員がいる。
42	吉田高等学校	・担当者の負担が大きい。特に学期末の成績・出欠処理や年度末、年度始めの各種設定
43	北宇和高等学校	特にない
43	北宇和高等学校(三間)	年度末や年度初めの登録における担当者の負担が大きい。
44	南宇和高等学校	年度末での人事異動の中、進級処理や授業の登録等、期限内にしなければならないものが非常に多く、システム担当者への負担がかなり大きい。
45	今治東中等教育学校	年度始めの履修登録や日々の運営・管理により、担当者へ負担が集中している。
46	松山西中等教育学校	システム担当者の負担が大きい。業務の分散と引継ぎが重要である。
47	宇和島南中等教育学校	担当者の年度初めの各種設定の負担
1	川之江高等学校(定)	年度当初の設定と異動にともなう引継ぎが大変、特定教員への負担が大きい
5	新居浜西高等学校(定)	年度末・年度初めの業務に入試や新年度の業務が重なること。 単位制において、一覧表の文字サイズが小さく見えない。表示設定項目が少なく扱いづらい部分がある。
9	西条高等学校(定)	定時制課程にはシステム運用できる職員が不在のため、トラブル発生時には全日制課程の職員のサポートを受けている。
14	今治西高等学校(定)	管理責任者等、特定の教員への大きな負担が課題である。
20	松山東高等学校(通)	成績一覧表ができないので、エクセルで作成している。仕事が二重になっている。
21	松山南高等学校(定)	一部の教員しかシステムを運用する方法が分かっていらず、管理をしている教務課の負担が大きく、引継ぎが困難である。また、単位制の定時制ということで、特殊な処理を要するものが多く、引継ぎの困難さを更に高めている。
24	松山工業高等学校(定)	校務支援担当者に仕事が偏る。
25	松山商業高校(定)	なし
30	大洲高等学校(肱川)	年度末～年度初めの担当者の負担が大きい。
34	八幡浜高等学校(定)	全日制と定時制の連携がうまくいかない部分が見られた。
40	宇和島東高等学校(定)	定時制・単位制の現状に即していない部分がある。年度末・年度当初の業務負担が大変大きい。
48	松山盲学校	音声読み上げソフトに対応していないため、パソコンを音声で聞いて操作する視覚障がいのある教員が活用できない。そのため、学校全体でも活用できない機能が多い。
49	松山聾学校	(1)運用の課題 ア 端末に不慣れな者がつまづくところを、周囲がサポートできる環境を整えるようにすること。 イ 不慣れな者が自主勉強や研修を受けられるように、職場環境を整えること。 (2)活用の課題 端末を使う側がその機能を十分に理解すること
50	しげのぶ特別支援学校	・校務支援システムの担当者が多忙。 ・年度末、年度始めの校内の設定や変更が担当になった者の過重負担となっている。 ・校内で担当者を増やしていかないといけないが、様々な機能に対する講習となると時間が足りない。一部、裾野を広げても困ったときには熟知している者が対応するしかない状況になっている。 ・本来、機能的に活用したいものがなく、アナログで対応するか、別のシステムファイルを独自に設けなくてはならない。(例えば、高等部の知的の総授業時数のカウントや、小中の出席簿の期間を区切った出欠集計など) ・教育委員会から配布されている要録の手引きと校務支援システムの出力内容がリンクしていない。
51	みなら特別支援学校	訂正や変更があった場合、対応が難しいことがある。
51	みなら特別支援学校(松山城北)	・学級担任が年度途中に産休・育休、退職、休職することがあり、担任設定を何度もすることの対応と指導要録の学級担任が3人までしか入らなかったこと。 ・終業式の午後など、時間帯によって動きが悪くなる。 ・指導要録の総授業時数を入力しなければならないが、校務支援システムの出席簿では総授業時数を数えることができず、総授業時数を数えるためにもう1つ別で出席簿を付けている。
52	今治特別支援学校	システムを熟知している教員が少なく、年度初めや年度末にその教員の負担が大きくなる担当を増やす必要があるが、教員の異動などでうまくいかない面がある

53	宇和特別支援学校(知的)	必要な情報の取捨選択や整理が必要であり、入力の手間や負担の軽減も必要である。
54	新居浜特別支援学校	高等部の出欠管理において、授業総時数を集計すること。
54	新居浜特別支援学校(川西)	特になし
54	新居浜特別支援学校(みしま)	課題として、出席簿からの個人データの書き出しができないため、出席一覧表へは手入力をしている。また、指導要録の出席へも非常変災等が反映されない。

6 学校の特色化・魅力化の発信について

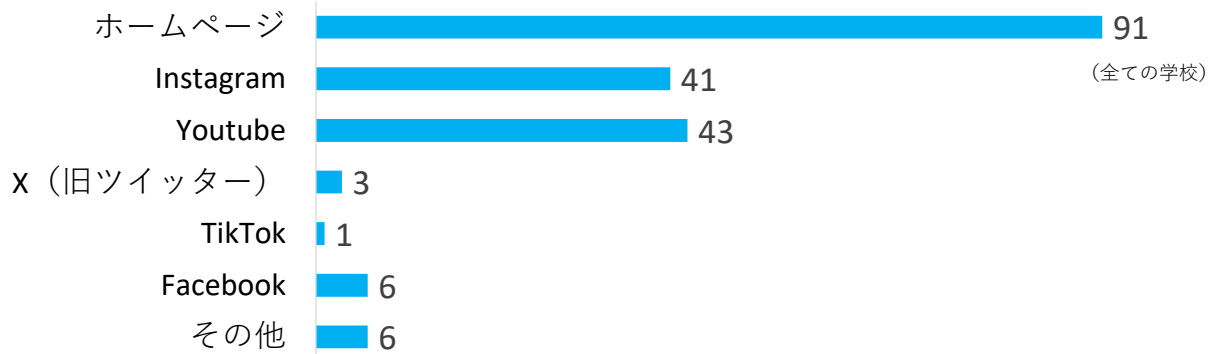
- (1) 公開授業の実施日数
- (2) 中学生を対象とした自校での学校紹介の実施日数
- (3) 学校紹介のための中学校訪問の実施校数（延べ数）

学校 番号	学校名	公開授業実施日数		中学生を対象とした自校で の学校紹介の実施日数		学校紹介のための中学校 訪問の実施校数(延べ数)	
		R6実施	R7予定	R6実施	R7予定	R6実施	R7予定
1	川之江高等学校	6	6	2	2	8	7
2	三島高等学校	3	4	1	1	7	7
3	土居高等学校	14	14	2	2	9	7
4	新居浜東高等学校	3	3	1	1	14	14
5	新居浜西高等学校	3	2	1	1	15	15
6	新居浜南高等学校	4	3	1	1	26	28
7	新居浜工業高等学校	5	5	2	2	38	40
8	新居浜商業高等学校	6	2	1	1	13	13
9	西条高等学校	2	2	2	1	21	21
10	西条農業高等学校	4	4	5	5	17	17
11	小松高等学校	4	4	1	1	10	10
12	東予高等学校	8	8	3	4	10	10
13	丹原高等学校	2	2	1	0	6	0
14	今治西高等学校	5	6	3	3	20	20
14	今治西高等学校(伯方)	2	2	1	1	11	11
15	立今治南高等学校	1	1	3	3	23	14
16	今治北高等学校	2	2	1	1	29	20
16	今治北高等学校(大三島)	2	2	3	3	35	34
17	今治工業高等学校	2	2	2	2	13	13
18	弓削高等学校	5	5	56	50	6	6
19	北条高等学校	4	4	2	2	6	6
20	松山東高等学校	3	3	5	4	10	10
21	松山南高等学校	4	4	3	3	24	24
21	松山南高等学校(砥部)	4	3	2(4)	2(4)	27	27
22	松山北高等学校	2	2	3	3	22	20程度
22	松山北高等学校(中島)	10	10	1	1	31	31
23	松山中央高等学校	5	5	3	3	15	未定
24	松山工業高等学校	8	8	3	4	35	35
25	松山商業高等学校	14	14	2	3	31	31
26	東温高等学校	4	4	3	3	5	5
27	上浮穴高等学校	5	5	3	3	4	4
28	伊予農業高等学校	7	7	4	4	33	33
29	伊予高等学校	4	4	3	3	60	68
30	大洲高等学校	4	4	1	1	15	15
31	大洲農業高等学校	5	5	1	1	12	15
32	長浜高等学校	14	14	10	10	11	11
33	内子高等学校	10	4	1	1	12	12
33	内子高等学校(小田)	5	5	1	1	23	30
34	八幡浜高等学校	3	3	1	1	16	16
35	八幡浜工業高等学校	5	5	1	1	15	未定
36	川之石高等学校	3	3	1	1	7	5
37	三崎高等学校	3	3	15	15	10	10
38	宇和高等学校	12	11	1	1	10	10
39	野村高等学校	10	10	2	2	2	3
40	宇和島東高等学校	6	6	2	2	17	17
40	宇和島東高等学校(津島)	2	1	0	0	0	0
41	宇和島水産高等学校	9	9	1	3	12	12
42	吉田高等学校	10	10	1	1	12	12
43	北宇和高等学校	7	7	2	2	9	9
43	北宇和高等学校(三間)	11	11	0	0	0	0
44	南宇和高等学校	5	5	1	1	7	7
45	今治東中等教育学校	8	8	3	3	12	8
46	松山西中等教育学校	2	2	15	15	0	0
47	宇和島南中等教育学校	8	4	1	1	0	8
55	愛媛大学附属高等学校	1	1	2	2	18	18
57	FC今治高等学校明德校	2	2	1	1	150	150
58	今治精華高等学校	10	10	3	3	3	3
60	済美高等学校	1	1	8	8	60	70
61	聖カタリナ学園高等学校	1	4	5	5	110	110
62	松山東雲高等学校	5	5	4	4	70	70
63	松山学院高等学校	1	1	6	6	80	80
64	新田高等学校	1	1	3	3	69	65

65	愛光高等学校	2	2	2	2	0	0
66	松山聖陵高等学校	0	0	3	4	80	80
68	帝京第五高等学校	4	4	6	6	34	34
69	済美平成中等教育学校	4	4	2	2	96	96
70	新田青雲中等教育学校	6	6	なし	なし	なし	なし
1	川之江高等学校(定)	5	5	0	0	6	6
5	新居浜西高等学校(定)	3	3	0	0	0	0
9	西条高等学校(定)	5	5	5	5	10	10
14	今治西高等学校(定)	1	1	0	0	0人	0人
20	松山東高等学校(通)	2	2	8	8	1	2
21	松山南高等学校(定)	5	5	20	20	9	39
24	松山工業高等学校(定)	1	1	5	5	28	28
25	松山商業高校(定)	1	2	0	0	8	0
30	大洲高等学校(肱川)	1	1	3	随時	2	3
34	八幡浜高等学校(定)	6	6	2	随時	1	未定
40	宇和島東高等学校(定)	1	1	11	随時	0	0
58	今治精華高等学校(通)	0	0	0	0	1	1
67	未来高等学校(通)	0	0	20	20	280	280
48	松山盲学校	17	17	2	2	3	3
49	松山聾学校	4	4	1	1	0	0
50	しげのぶ特別支援学校	9	11	なし	なし	なし	なし
51	みなら特別支援学校	8	8	1	2	0	0
51	みなら特別支援学校(松山城北)	0	0	3	3	0	0
52	今治特別支援学校	4	3	1	1	0	0
53	宇和特別支援学校(知的)	5	5	2	2	0	0
54	新居浜特別支援学校	8	8	1	1	0	0
54	新居浜特別支援学校(川西)	3	3	0	0	0	0
54	新居浜特別支援学校(みしま)	4	4	0	0	0	0
56	愛大附属特別支援学校	7	7	1	1	0	0

(4) 学校の特徴・魅力の発信方法について（複数回答可）

ア ホームページ イ Instagram ウ YouTube エ X（旧Twitter）
オ TikTok カ Facebook キ その他



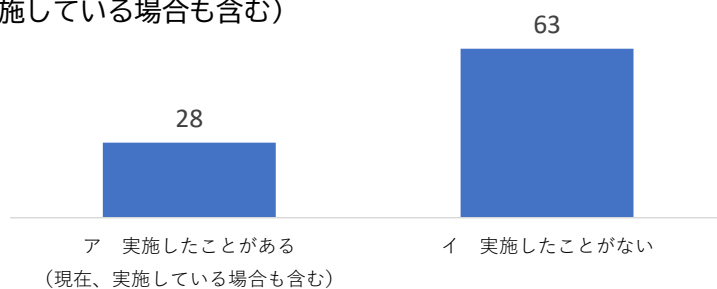
イ Instagram			
川之江高等学校	松山北高等学校(中島)	野村高等学校	松山東雲高等学校
三島高等学校	松山工業高等学校	宇和島東高等学校	松山学院高等学校
新居浜東高等学校	東温高等学校	宇和島水産高等学校	新田高等学校
新居浜工業高等学校	上浮穴高等学校	北宇和高等学校	松山聖陵高等学校
新居浜商業高等学校	伊予高等学校	北宇和高等学校(三間)	帝京第五高等学校
西条高等学校	大洲高等学校	南宇和高等学校	新田青雲中等教育学校
西条農業高等学校	大洲農業高等学校	宇和島南中等教育学校	今治精華高等学校(通)
小松高等学校	長浜高等学校	愛媛大学附属高等学校	未来高等学校(通)
今治工業高等学校	内子高等学校(小田)	今治精華高等学校	
弓削高等学校	三崎高等学校	済美高等学校	
松山南高等学校(砥部)	宇和高等学校	聖カタリナ学園高等学校	
ウ YouTube			
土居高等学校	今治北高等学校(大三島)	内子高等学校	宇和島南中等教育学校
新居浜東高等学校	今治工業高等学校	八幡浜高等学校	済美高等学校
新居浜南高等学校	弓削高等学校	三崎高等学校	松山学院高等学校
新居浜工業高等学校	松山東高等学校	野村高等学校	松山聖陵高等学校
西条高等学校	松山南高等学校(砥部)	宇和島東高等学校	帝京第五高等学校
西条農業高等学校	松山工業高等学校	宇和島水産高等学校	松山南高等学校(定)
東予高等学校	松山商業高等学校	吉田高等学校	今治精華高等学校(通)
丹原高等学校	上浮穴高等学校	北宇和高等学校(三間)	未来高等学校(通)
今治西高等学校(伯方)	伊予高等学校	南宇和高等学校	松山盲学校
立今治南高等学校	長浜高等学校	今治東中等教育学校	松山聾学校
今治北高等学校	内子高等学校(小田)	松山西中等教育学校	
エ X(旧Twitter)	オ TikTok	カ Facebook	キ その他
新居浜工業高等学校	松山学院高等学校	弓削高等学校	松山南高等学校
西条農業高等学校		上浮穴高等学校	松山西中等教育学校
野村高等学校		長浜高等学校	帝京第五高等学校
		三崎高等学校	済美平成中等教育学校
		野村高等学校	松山東高等学校(通)
		今治精華高等学校(通)	八幡浜高等学校(定)

7 病気療養中等の生徒に対する遠隔授業の実施状況について

(1) 実施状況

ア 実施したことがある（現在、実施している場合も含む）

イ 実施したことがない



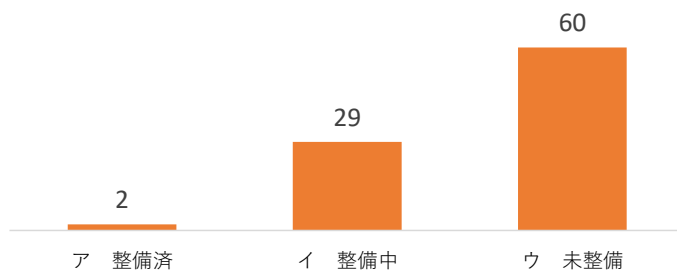
ア 実施したことがある（現在、実施している場合も含む）	イ 実施したことがない		
川之江高等学校	土居高等学校	宇和高等学校	今治精華高等学校（通）
三島高等学校	新居浜西高等学校	宇和島東高等学校（津島）	未来高等学校（通）
新居浜東高等学校	新居浜南高等学校	宇和島水産高等学校	みなら特別支援学校
西条農業高等学校	新居浜工業高等学校	吉田高等学校	みなら特別支援学校（松山城北）
小松高等学校	新居浜商業高等学校	北宇和高等学校	今治特別支援学校
今治北高等学校	西条高等学校	北宇和高等学校（三間）	新居浜特別支援学校（川西）
松山東高等学校	東予高等学校	南宇和高等学校	新居浜特別支援学校（みしま）
松山南高等学校	丹原高等学校	今治東中等教育学校	
松山北高等学校	今治西高等学校	宇和島南中等教育学校	
松山工業高等学校	今治西高等学校（伯方）	FC今治高等学校明徳校	
松山商業高等学校	立今治南高等学校	今治精華高等学校	
東温高等学校	今治北高等学校（大三島）	松山学院高等学校	
八幡浜高等学校	今治工業高等学校	新田高等学校	
三崎高等学校	弓削高等学校	愛光高等学校	
野村高等学校	北条高等学校	松山聖陵高等学校	
宇和島東高等学校	松山南高等学校（砥部）	帝京第五高等学校	
松山西中等教育学校	松山北高等学校（中島）	済美平成中等教育学校	
愛媛大学附属高等学校	松山中央高等学校	川之江高等学校（定）	
済美高等学校	上浮穴高等学校	新居浜西高等学校（定）	
聖カトリナ学園高等学校	伊予農業高等学校	西条高等学校（定）	
松山東雲高等学校	伊予高等学校	今治西高等学校（定）	
新田青雲中等教育学校	大洲高等学校	松山東高等学校（通）	
松山盲学校	大洲農業高等学校	松山南高等学校（定）	
松山聾学校	長浜高等学校	松山工業高等学校（定）	
しげのぶ特別支援学校	内子高等学校（小田）	松山商業高校（定）	
宇和特別支援学校（知的）	内子高等学校	大洲高等学校（肱川）	
新居浜特別支援学校	八幡浜工業高等学校	八幡浜高等学校（定）	
愛大附属特別支援学校	川之石高等学校	宇和島東高等学校（定）	

(2) 6(1)について、「実施したことがある（現在、実施している場合も含む）」と回答した学校は、病気療養中等の生徒に対する遠隔授業がどのようなものであったか簡単に記載してください（方法、単位認定、評価等）。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	手術により数ヶ月の入院が必要になった生徒に対し、オンラインでの授業を実施して出席時数とした。（退院後は一般生徒と同じく対面授業に参加し、考査も受けたため、単位認定や評価においては特別な配慮は行っていない。）
2	三島高等学校	teamsの会議を使用し、授業にオンラインで参加させる。
4	新居浜東高等学校	病院に許可をいただき、Teamsを用いて遠隔授業を行った。授業を視聴したものについては出席扱いとして、他の生徒と同様の評価を行った。
10	西条農業高等学校	・Teamsの会議を利用。ホワイトボードが映るようにした。 ・病気療養中の生徒は出席停止扱いであったため、単位認定や評価については、特に何もしていない。
11	小松高等学校	令和4年度に実施。Teamsによるオンライン授業。期間は、本人の体調が良い時、検査等がない時に限られ、3週間程度。実技科目以外は、出席、評価共に規定内であり、単位認定は有り。実技科目は、レポート提出などで認定。
16	今治北高等学校	オンラインで授業を配信した。オンライン授業の状況を記録に留め、評価は教科担任が、単位認定は校長が判断した。
20	松山東高等学校	Teamsを利用したリアルタイム遠隔授業。評価は通常通り行った。
21	松山南高等学校	コロナやインフルエンザ罹患で体調回復したが登校できない生徒に、授業をZoom等で配信した。
22	松山北高等学校	新型コロナウイルス感染症が2類であった時期に、濃厚接触者で出席停止扱いになった生徒に授業の様子を配信しました。
24	松山工業高等学校	Teamsを使って授業中継を行った。
25	松山商業高等学校	授業のリアルタイム配信
26	東温高等学校	一昨年度、入院中の生徒に対するオンライン授業、オンデマンドによる授業配信を行った。オンデマンドでは、教科担当者があらかじめ指示した課題の提出によって、授業への出席と認めた。
34	八幡浜高等学校	入院中の生徒に対するオンライン授業を行い、出席扱いとした
37	三崎高等学校	授業をteamsで接続し、対話ができる状態で受けさせる
39	野村高等学校	学校には登校できなかったため欠席扱いとしたが、本人の希望によりZOOMでカメラを設置し、他の生徒と同様に授業に参加した。
40	宇和島東高等学校	・Teamsによる授業配 ・考査の実施：県外に入院していた生徒に対して、その日の考査終了後にデータを送り、返信してきた答案を採点した。 ・別室登校委員会にて単位認定、評価方法を検討し、校長の指示のもと評価を行った。
46	松山西中等教育学校	病気療養で登校できない日が続いた生徒に対して実施した。該当クラスの授業の様子を配信した。
55	愛媛大学附属高等学校	長期間休業の生徒に対しては実施していない。科目選択説明会などの重要な授業において、欠席者にZoomで接続して説明を聞かせることがある。出席の扱いとはせず、評価も行っていない。
60	済美高等学校	オンラインでの授業参加を授業出席として認めた
61	聖カタリナ学園高等学校	長期入院生徒で、可能な際にはオンライン授業で参加。難しい場合は、録画した授業のオンデマンド型の授業を実施。試験については、リアルタイムで映像を映してもらいテストに臨んでもらった。すべての単位を取ることは体調面を含めて困難であったため、卒業の為に必要な単位数に抑えて修得をした。履修の時間数を確保するため、卒業式後の3月も履修を実施し、別日に卒業式を個別に実施した。 担任と教科担当の労力が非常にかかってくるため、担任教科担当の協力が必至である。
62	松山東雲高等学校	GoogleClassroomやYouTubeで授業を配信し、提出物などによる評価を行った。
70	新田青雲中等教育学校	新型コロナウイルスがインフルエンザウイルスと同じ扱いになる前ではあるが、コロナに感染した生徒への授業をそのまゝリモートでライブ配信して、自宅で授業に参加するという形で行ったことがある。
48	松山盲学校	入院のため登校できない生徒(高等部)に対し、ビデオ会議システムによるオンライン授業を行った。特別時間割を組んで、治療に支障のない範囲で行った。
49	松山聾学校	出席停止の生徒に対し、グーグルミートを用いた遠隔授業を一週間程度実施した。
50	しげのぶ特別支援学校	・GoogleMeet、GoogleClassroom、Zoomを用いた授業参加(双方向のやり取り)1単位時間中の一部だったため出席扱いにはせず、成績表・通知表には実施について記載(重複障がい学級の児童生徒)
53	宇和特別支援学校(知的)	教室と家庭間で、Zoomやロイロノートを使って、学級担任の教科やHRのみではあったが、遠隔授業を行った。リモートで行った授業に関する学習評価を文章により端的に表した。
54	新居浜特別支援学校	(当時)高等部2年生。入院治療機関の1カ月間。朝の会をオンラインで実施。出席扱いとはせず、評価もしていない。
56	愛大附属特別支援学校	生徒の負担にならない時間帯にZOOMで遠隔授業を行っている。

(3) 校内規定の整備状況

ア 整備済
イ 準備中
ウ 未整備



ア 整備済	イ 準備中	ウ 未整備	
松山商業高等学校	新居浜東高等学校	川之江高等学校	宇和高等学校
宇和特別支援学校(知的)	西条高等学校	三島高等学校	宇和島水産高等学校
	西条農業高等学校	土居高等学校	北宇和高等学校(三間)
	小松高等学校	新居浜西高等学校	南宇和高等学校
	丹原高等学校	新居浜南高等学校	今治東中等教育学校
	今治西高等学校(伯方)	新居浜工業高等学校	松山西中等教育学校
	弓削高等学校	新居浜商業高等学校	愛媛大学附属高等学校
	松山南高等学校	東予高等学校	今治精華高等学校
	大洲高等学校	今治西高等学校	済美高校
	八幡浜工業高等学校	立今治南高等学校	松山学院高等学校
	三崎高等学校	今治北高等学校	愛光高等学校
	野村高等学校	今治北高等学校(大三島)	帝京第五高等学校
	宇和島東高等学校	今治工業高等学校	済美平成中等教育学校
	宇和島東高等学校(津島)	北条高等学校	川之江高等学校(定)
	吉田高等学校	松山東高等学校	新居浜西高等学校(定)
	北宇和高等学校	松山南高等学校(砥部)	西条高等学校(定)
	宇和島南中等教育学校	松山北高等学校	今治西高等学校(定)
	FC今治高等学校明德校	松山北高等学校(中島)	松山東高等学校(通)
	聖カトリック学園高等学校	松山中央高等学校	松山南高等学校(定)
	松山東雲高等学校	松山工業高等学校	松山商業高校(定)
	新田高等学校	東温高等学校	大洲高等学校(肱川)
	松山聖陵高等学校	上浮穴高等学校	八幡浜高等学校(定)
	新田青雲中等教育学校	伊予農業高等学校	未来高等学校(通)
	松山工業高等学校(定)	伊予高等学校	みなら特別支援学校
	宇和島東高等学校(定)	大洲農業高等学校	みなら特別支援学校(松山城北)
	今治精華高等学校(通)	長浜高等学校	今治特別支援学校
	松山盲学校	内子高等学校(小田)	新居浜特別支援学校
	松山聾学校	内子高等学校	新居浜特別支援学校(川西)
	しげのぶ特別支援学校	八幡浜高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)
		川之石高等学校	愛大附属特別支援学校

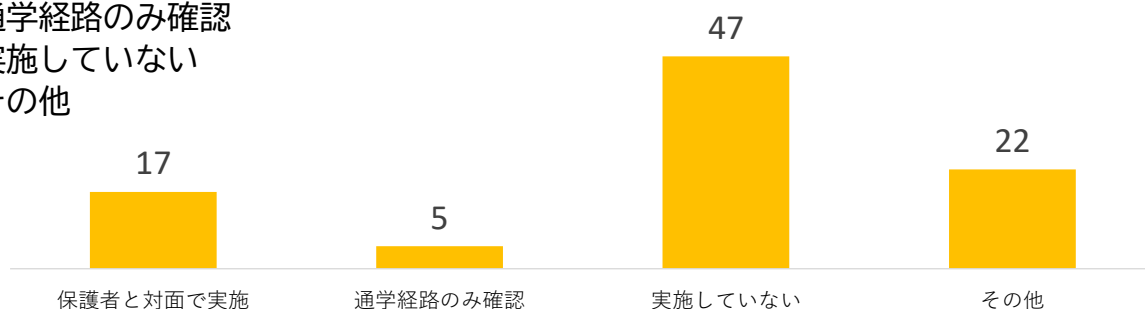
8 年度当初の家庭訪問の実施状況について

ア 保護者と対面で実施

イ 通学経路のみ確認

ウ 実施していない

エ その他



ア 保護者と対面で実施			イ 通学経路のみ確認
川之江高等学校	野村高等学校	松山南高等学校(定)	松山商業高等学校
東予高等学校	宇和島水産高等学校	八幡浜高等学校(定)	大洲高等学校
大洲農業高等学校	吉田高等学校	宇和島東高等学校(定)	北宇和高等学校
八幡浜高等学校	北宇和高等学校(三間)	松山聾学校	新居浜西高等学校(定)
八幡浜工業高等学校	新田青雲中等教育学校	今治特別支援学校	愛大附属特別支援学校
川之石高等学校	川之江高等学校(定)		
ウ 実施していない			エ その他
新居浜東高等学校	長浜高等学校	みなら特別支援学校(松山城北)	三島高等学校
新居浜西高等学校	三崎高等学校	宇和特別支援学校(知的)	土居高等学校
新居浜南高等学校	宇和高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)	新居浜工業高等学校
西条高等学校	宇和島東高等学校		新居浜商業高等学校
西条農業高等学校	宇和島東高等学校(津島)		小松高等学校
丹原高等学校	南宇和高等学校		今治北高等学校(大三島)
今治西高等学校	松山西中等教育学校		今治工業高等学校
今治西高等学校(伯方)	宇和島南中等教育学校		松山南高等学校(砥部)
立今治南高等学校	愛媛大学附属高等学校		内子高等学校
今治北高等学校	FC今治高等学校明德校		内子高等学校(小田)
弓削高等学校	今治精華高等学校		今治東中等教育学校
北条高等学校	済美高校		松山東雲高等学校
松山東高等学校	聖カタリナ学園高等学校		松山聖陵高等学校
松山南高等学校	松山学院高等学校		済美平成中等教育学校
松山北高等学校	新田高等学校		今治西高等学校(定)
松山北高等学校(中島)	愛光高等学校		松山商業高校(定)
松山中央高等学校	帝京第五高等学校		大洲高等学校(脇川)
松山工業高等学校	西条高等学校(定)		未来高等学校(通)
東温高等学校	松山東高等学校(通)		松山盲学校
上浮穴高等学校	松山工業高等学校(定)		しげのぶ特別支援学校
伊予農業高等学校	今治精華高等学校(通)		新居浜特別支援学校
伊予高等学校	みなら特別支援学校		新居浜特別支援学校(川西)